米に関するマンスリーレポート

（令和元年10月号）

「すぐ分かる米政策改革！」米政策の見直しについて解説する動画を公開しています！
http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_seisaku_kaikaku.html

【本資料の目的】
本レポートは、米に関する価格動向や需給動向に係るデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

【利用上の注意】
１．本レポートは、原則として公表２営業日前までの公表資料を反映しています。
２．本レポートは、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあり得ます。

農林水産省

今月の特集①

【令和元年産水稲の作付面積及び９月15日現在における作柄概況】

（令和元年９月30日公表）

－ 主食用作付見込面積は137万9,000ha、10a当たり予想収量は536kgの見込み －

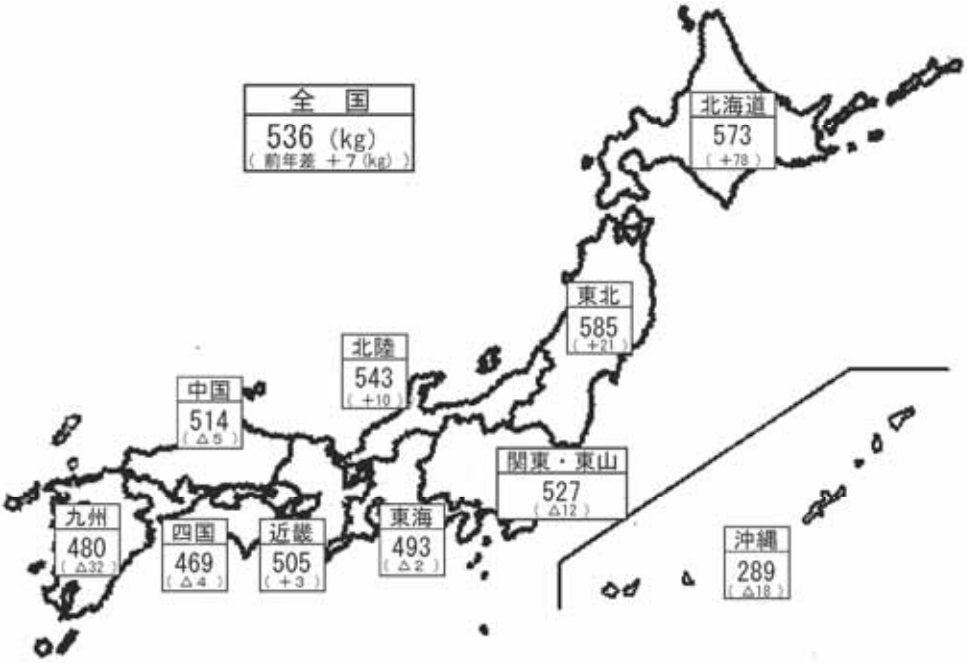
【調査結果の概要】

１　令和元年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）は158万4,000haで、前年産に比べ8,000haの減少が見込まれる。うち主食用作付見込面積は137万9,000haで、前年産に比べ7,000haの減少が見込まれる。

２　９月15日現在における水稲の作柄は、北海道、東北及び北陸では、全もみ数が平年以上に確保され、登熟も順調に推移していると見込まれるものの、その他の地域では、７月上中旬の低温・日照不足の影響により、全もみ数がやや少ない地域があることに加え、登熟も８月中下旬の日照不足等の影響がみられたことから、全国の10ａ当たり予想収量は536kgとなった。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は101が見込まれる。

３　主食用作付見込面積に10ａ当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は736万9,000ｔで、前年産に比べ４万2,000ｔの増加が見込まれる。

全国農業地域別10a当たり予想収量（9月15 日現在）



○ 主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（令和元年9月15日現在）を除いた面積（見込み）である。

○ 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70 ㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。

○ 本調査における作柄概況（9月15 日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

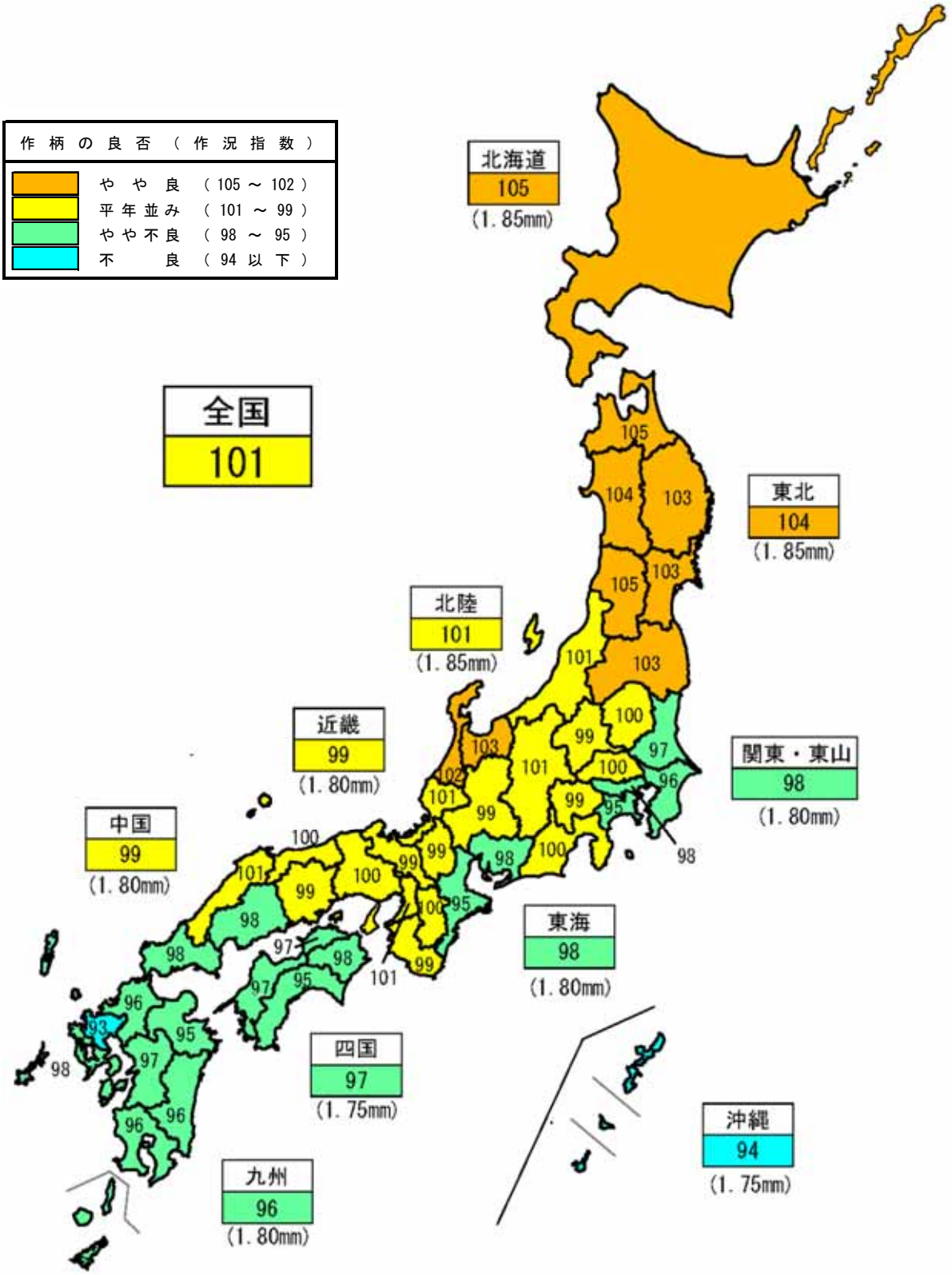
○ 令和元年産水稲の９月15日現在における作柄概況は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のＵＲＬからご覧いただけます。【http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y3】

令和元年産水稲の作付面積及び9月15日現在の10a当たり予想収量（全国農業地域別）

全国農業地域	作付面積（青刈り面積を含む。）				10ａ当たり予想収量		参考	
	実数	前年産との比較			実数	前年産との比較	主食用作付見込面積	予想収穫量（主食用）
		対差		対比	①	対差	②	③＝①×②
	ha	ha		%	kg	kg	ha	t
全国	1,584,000	△	8,000	99	536	7	1,379,000	7,369,000
北海道	105,600	△	800	99	573	78	97,000	555,800
東北	412,500		0	100	585	21	344,600	2,011,000
北陸	212,800		100	100	543	10	186,400	1,012,000
関東・東山	297,600	△	1,600	99	527	△ 12	258,400	1,363,000
東海	100,300	△	600	99	493	△ 2	90,500	446,300
近畿	105,200	△	600	99	505	3	99,000	499,500
中国	108,000	△	2,200	98	514	△ 5	99,400	510,600
四国	50,800	△	1,100	98	469	△ 4	47,800	224,000
九州	191,100	△	700	100	480	△ 32	155,100	744,300
沖縄	677	△	39	95	289	△ 18	665	1,920

注：1　10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
　　2　主食用作付見込面積及び予想収穫量(主食用)については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
　　3　沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量（主食用）の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

全国農業地域・都道府県別作況指数（9月15日現在）
【農家等が使用しているふるい目幅ベース】



注：1　作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85 ㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80 ㎜、四国及び沖縄は1.75 ㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2　徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

令和元年産水稲の作付面積、10a当たり予想収量及び作柄概況（9月15日現在）

全国・都道府県	作付面積（青刈り面積を含む。）実数	前年産との比較 対差	前年産との比較 対比	10a当たり予想収量 ①	（参考）農家等が使用しているふるい目幅で選別 10a当たり予想収量 ②	10a当たり平年収量 ③	作況指数 ④＝②／③
	ha	ha	%	kg	kg	kg	
全国 (1)	1,584,000	△ 8,000	99	536	522	519	101
北海道 (2)	105,600	△ 800	99	573	556	532	105
青森 (3)	50,400	100	100	621	603	575	105
岩手 (4)	55,900	0	100	553	539	522	103
宮城 (5)	75,300	400	101	554	537	522	103
秋田 (6)	90,500	△ 400	100	594	578	554	104
山形 (7)	68,900	△ 200	100	625	608	580	105
福島 (8)	71,400	200	100	565	544	529	103
茨城 (9)	76,600	△ 400	99	506	498	515	97
栃木 (10)	69,200	△ 100	100	539	528	529	100
群馬 (11)	17,100	△ 200	99	494	477	482	99
埼玉 (12)	33,400	△ 200	99	493	478	476	100
千葉 (13)	60,800	△ 200	100	517	509	532	96
東京 (14)	129	△ 4	97	405	395	404	98
神奈川 (15)	3,050	△ 40	99	467	452	478	95
新潟 (16)	121,900	400	100	546	533	528	101
富山 (17)	38,900	0	100	556	544	528	103
石川 (18)	25,600	△ 200	99	532	516	506	102
福井 (19)	26,400	0	100	523	502	499	101
山梨 (20)	4,910	△ 20	100	541	526	533	99
長野 (21)	32,400	△ 300	99	625	613	607	101
岐阜 (22)	25,100	0	100	482	472	478	99
静岡 (23)	17,100	△ 100	99	527	512	513	100
愛知 (24)	29,000	△ 200	99	499	490	499	98
三重 (25)	29,200	△ 200	99	477	465	489	95
滋賀 (26)	32,900	0	100	511	499	506	99
京都 (27)	14,600	△ 100	99	506	496	501	99
大阪 (28)	4,860	△ 150	97	499	485	480	101
兵庫 (29)	37,900	△ 100	100	500	487	489	100
奈良 (30)	8,560	△ 100	99	515	502	500	100
和歌山 (31)	6,360	△ 70	99	491	480	486	99
鳥取 (32)	13,800	△ 100	99	518	504	504	100
島根 (33)	18,600	△ 400	98	517	506	502	101
岡山 (34)	31,500	△ 400	99	522	510	514	99
広島 (35)	23,600	△ 800	97	514	503	515	98
山口 (36)	20,500	△ 500	98	494	482	492	98
徳島 (37)	12,000	△ 200	98	466	461	469	98
早期栽培 (38)	4,730	△ 100	98	456	451	459	98
普通栽培 (39)	7,250	△ 90	99	474	469	475	99
香川 (40)	12,300	△ 500	96	482	477	491	97
愛媛 (41)	14,000	△ 400	97	485	477	492	97
高知 (42)	12,500	△ 100	99	437	432	454	95
早期栽培 (43)	7,240	△ 70	99	455	450	476	95
普通栽培 (44)	5,290	△ 50	99	413	409	425	96
福岡 (45)	38,500	△ 400	99	477	457	477	96
佐賀 (46)	26,100	△ 200	99	482	467	503	93
長崎 (47)	12,700	△ 100	99	474	457	464	98
熊本 (48)	42,300	0	100	497	482	497	97
大分 (49)	24,400	△ 200	99	478	456	480	95
宮崎 (50)	23,200	0	100	475	462	482	96
早期栽培 (51)	8,700	△ 110	99	459	450	470	96
普通栽培 (52)	14,500	100	101	486	469	490	96
鹿児島 (53)	23,900	200	101	462	449	468	96
早期栽培 (54)	6,570	10	100	438	427	435	98
普通栽培 (55)	17,300	200	101	469	455	478	95
沖縄 (56)	677	△ 39	95	289	287	306	94
第一期稲 (57)	506	△ 21	96	331	330	359	92
第二期稲 (58)	171	△ 18	90	…	…	159	…

注：1　①10a当たり予想収量は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
2　（参考）農家等が使用しているふるい目幅で選別の②10a当たり予想収量、③10a当たり平年収量及び④作況指数については、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
3　沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量（主食用）の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

参考		作柄概況（平年比較）				
主食用作付見込面積 ⑤	予想収穫量（主食用） ⑥＝①×⑤	穂数の多少	1穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否	
ha	t					
1,379,000	7,369,000	…	…	…	…	(1)
97,000	555,800	多い	やや少ない	やや多い	平年並み	(2)
39,200	243,400	多い	やや少ない	やや多い	平年並み	(3)
48,300	267,100	多い	やや少ない	やや多い	平年並み	(4)
64,800	359,000	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	(5)
74,900	444,900	やや多い	やや少ない	やや多い	平年並み	(6)
56,900	355,600	多い	やや少ない	多い	平年並み	(7)
60,400	341,300	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	(8)
66,400	336,000	平年並み	平年並み	やや多い	やや不良	(9)
54,900	295,900	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良	(10)
13,600	67,200	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	(11)
30,900	152,300	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(12)
53,700	277,600	やや多い	やや少ない	平年並み	やや不良	(13)
129	522	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	(14)
3,040	14,200	少ない	平年並み	少ない	良	(15)
106,800	583,100	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良	(16)
33,300	185,100	多い	やや少ない	やや多い	やや不良	(17)
22,700	120,800	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	(18)
23,600	123,400	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良	(19)
4,810	26,000	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(20)
30,900	193,100	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	(21)
21,400	103,100	やや少ない	平年並み	平年並み	平年並み	(22)
15,600	82,200	やや少ない	多い	多い	不良	(23)
26,600	132,700	やや少ない	平年並み	平年並み	平年並み	(24)
26,900	128,300	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	(25)
30,200	154,300	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	(26)
13,800	69,800	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(27)
4,850	24,200	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(28)
35,300	176,500	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(29)
8,450	43,500	やや少ない	平年並み	平年並み	平年並み	(30)
6,360	31,200	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(31)
12,600	65,300	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	(32)
16,900	87,400	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(33)
29,300	152,900	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	(34)
22,200	114,100	やや多い	やや少ない	平年並み	やや不良	(35)
18,400	90,900	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	(36)
11,000	51,300	…	…	…	…	(37)
…	…	平年並み	やや多い	平年並み	やや不良	(38)
…	…	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(39)
12,000	57,800	少ない	平年並み	少ない	良	(40)
13,500	65,500	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	(41)
11,300	49,400	…	…	…	…	(42)
…	…	やや多い	やや多い	多い	不良	(43)
…	…	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや不良	(44)
34,500	164,600	少ない	平年並み	少ない	やや良	(45)
23,700	114,200	少ない	平年並み	少ない	平年並み	(46)
11,300	53,600	少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	(47)
32,300	160,500	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	(48)
20,400	97,500	少ない	やや多い	少ない	平年並み	(49)
14,600	69,400	…	…	…	…	(50)
…	…	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	(51)
…	…	少ない	やや多い	少ない	やや良	(52)
18,300	84,500	…	…	…	…	(53)
…	…	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	(54)
…	…	少ない	やや多い	少ない	平年並み	(55)
665	1,920	…	…	…	…	(56)
…	…	やや少ない	やや少ない	やや少ない	やや不良	(57)
…	…	…	…	…	…	(58)

4　主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（令和元年9月15日現在）を除いた面積（見込み）である。

5　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の早期・普通期別等の主食用作付見込面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

6　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を早期・普通期別等に行っており県平均を取りまとめていないため、「…」で示している。

今月の特集①

【令和元年産の水田における作付状況】

（令和元年９月15日現在・速報値）

・　全国の主食用米の作付面積は、都道府県ごとの増減があるものの、前年実績（138.6万ha）から0.7万ha減少し、137.9万haとなった。

・　また、戦略作物等については、備蓄米の作付面積が増加する一方、加工用米及び飼料用米が減少し、その他の戦略作物については、総じて前年並みとなった。

【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

（万ha）

	主食用米	備蓄米	戦略作物							
			加工用米	新規需要米				麦	大　豆	その他
				飼料用米	WCS（稲発酵粗飼料稲）	米粉用米	新市場開拓用米（輸出用米等）			
H27年産	140.6	4.5	4.7	8.0	3.8	0.4	0.2	9.9	8.7	10.0
H28年産	138.1	4.0	5.1	9.1	4.1	0.3	0.1	9.9	8.9	10.2
H29年産	137.0	3.5	5.2	9.2	4.3	0.5	0.1	9.8	9.0	10.2
H30年産	138.6	2.2	5.1	8.0	4.3	0.5	0.4	9.7	8.8	10.2
R元年産	137.9	3.3	4.7	7.2	4.2	0.5	0.4	9.7	8.6	10.2

注１：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、ＷＣＳ、新市場開拓用米）は取組計画の認定面積。
注２：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。
注３：その他は、飼料作物、そば、なたね等の面積。
注４：麦、大豆、その他（基幹作のみ）は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積。

令和元年産の水田における都道府県別の作付状況
（令和元年9月15日現在・速報値）

（ha）

都道府県	主食用米 ①	【参考】前年産（30年産）②	【参考】増減 ①−②	備蓄米	戦略作物 加工用米	新規需要米 飼料用米	新規需要米 WCS（稲発酵粗飼料稲）	新規需要米 米粉用米	新規需要米 新市場開拓用米（輸出用米等）	新規需要米 その他	麦	大豆	飼料作物	そば	なたね
全国計	137.9万	138.6万	▲ 0.7万	32,823	46,761	72,499	42,453	5,318	4,115	113	97,225	86,345	72,721	28,188	873
北海道	97,000	98,900	▲ 1,900	381	5,022	1,974	573	50	591	−	33,126	18,809	25,523	9,210	628
青森	39,200	39,600	▲ 400	4,505	1,162	4,764	652	6	131	−	626	4,254	4,736	1,236	11
岩手	48,300	48,800	▲ 500	651	1,292	3,724	1,673	57	177	1	3,347	3,519	7,768	666	14
宮城	64,800	64,500	+ 300	2,167	837	4,871	2,053	72	445	5	1,700	9,403	5,292	443	7
秋田	74,900	75,000	▲ 100	3,738	8,439	1,601	1,144	391	249	2	189	7,902	2,172	2,885	16
山形	56,900	56,400	+ 500	3,567	3,719	3,444	922	134	167	3	88	4,596	2,653	4,363	9
福島	60,400	61,200	▲ 800	4,800	446	4,623	1,014	2	63	2	248	792	1,611	1,763	74
茨城	66,400	66,800	▲ 400	208	1,288	7,697	526	16	416	−	4,366	408	511	349	5
栃木	54,900	54,700	+ 200	1,386	2,098	8,416	1,620	700	52	1	7,122	349	2,852	1,025	3
群馬	13,600	13,700	▲ 100	114	1,473	1,002	528	337	14	−	2,118	110	192	21	1
埼玉	30,900	30,800	+ 100	92	247	1,281	106	749	29	−	1,686	330	124	54	3
千葉	53,700	53,900	▲ 200	714	1,534	3,914	912	33	14	−	539	182	271	7	−
東京	129	133	▲ 4	−	−	−	−	0	−	−	−	−	−	−	−
神奈川	3,040	3,080	▲ 40	−	−	10	−	1	−	−	6	4	6	0	−
新潟	106,800	104,700	+ 2,100	4,502	5,626	2,213	383	1,405	777	0	177	3,972	321	828	4
富山	33,300	33,300	+ 0	2,235	1,259	1,301	432	86	274	−	2,930	3,681	265	199	14
石川	22,700	23,200	▲ 500	1,471	539	579	93	119	53	−	882	877	34	141	0
福井	23,600	23,600	+ 0	780	544	1,163	93	80	157	−	4,612	130	28	515	−
山梨	4,810	4,820	▲ 10	−	67	16	12	8	−	−	57	94	27	112	0
長野	30,900	31,300	▲ 400	233	747	235	216	23	68	−	2,358	522	511	2,220	0
岐阜	21,400	21,500	▲ 100	92	921	2,336	188	27	77	−	3,298	339	588	250	−
静岡	15,600	15,700	▲ 100	4	127	1,136	239	13	1	−	240	44	52	26	−
愛知	26,600	26,700	▲ 100	167	667	1,272	179	73	21	−	5,134	115	124	13	5
三重	26,900	27,100	▲ 200	53	212	1,613	249	96	66	−	6,057	281	80	16	19
滋賀	30,200	30,100	+ 100	264	981	958	231	29	168	−	7,388	392	149	104	24
京都	13,800	13,900	▲ 100	−	514	99	114	7	19	−	236	228	53	107	−
大阪	4,850	5,000	▲ 150	−	0	6	−	5	−	−	2	5	1	0	−
兵庫	35,300	35,500	▲ 200	−	703	305	775	24	3	7	1,854	1,480	790	137	11
奈良	8,450	8,530	▲ 80	−	20	30	38	25	−	−	64	19	5	1	0
和歌山	6,360	6,430	▲ 70	−	−	2	2	0	−	−	1	14	3	2	−
鳥取	12,600	12,700	▲ 100	78	19	685	368	0	−	0	25	587	755	293	0
島根	16,900	17,200	▲ 300	25	298	794	545	10	3	1	287	538	433	304	4
岡山	29,300	29,400	▲ 100	183	368	1,077	327	85	1	−	1,105	1,109	867	122	0
広島	22,200	22,900	▲ 700	4	357	332	552	112	6	0	251	274	963	255	−
山口	18,400	18,900	▲ 500	−	913	893	318	15	1	1	696	736	899	38	−
徳島	11,000	11,200	▲ 200	246	17	476	220	14	24	−	44	12	104	3	−
香川	12,000	12,500	▲ 500	−	45	121	125	10	2	0	949	48	96	11	2
愛媛	13,500	13,900	▲ 400	−	41	288	134	4	−	−	504	305	212	1	−
高知	11,300	11,400	▲ 100	2	64	877	236	14	−	−	5	58	119	1	−
福岡	34,500	34,900	▲ 400	51	220	1,969	1,497	209	6	−	1,366	7,965	420	48	1
佐賀	23,700	24,000	▲ 300	43	373	560	1,448	14	5	0	153	7,805	361	15	1
長崎	11,300	11,400	▲ 100	2	9	128	1,218	6	−	−	75	312	1,923	43	2
熊本	32,300	32,300	+ 0	46	717	1,175	7,757	220	16	52	719	2,030	2,257	174	9
大分	20,400	20,600	▲ 200	18	137	1,362	2,458	10	−	−	543	1,281	1,012	84	4
宮崎	14,600	14,700	▲ 100	−	1,478	431	6,642	20	18	35	11	198	3,278	42	0
鹿児島	18,300	18,300	+ 0	−	1,207	742	3,641	8	−	2	42	236	2,260	63	2
沖縄	665	716	▲ 51	−	12	−	−	−	−	−	−	−	18	−	−

※1　主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。
※2　加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。
※3　麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

今月の特集②

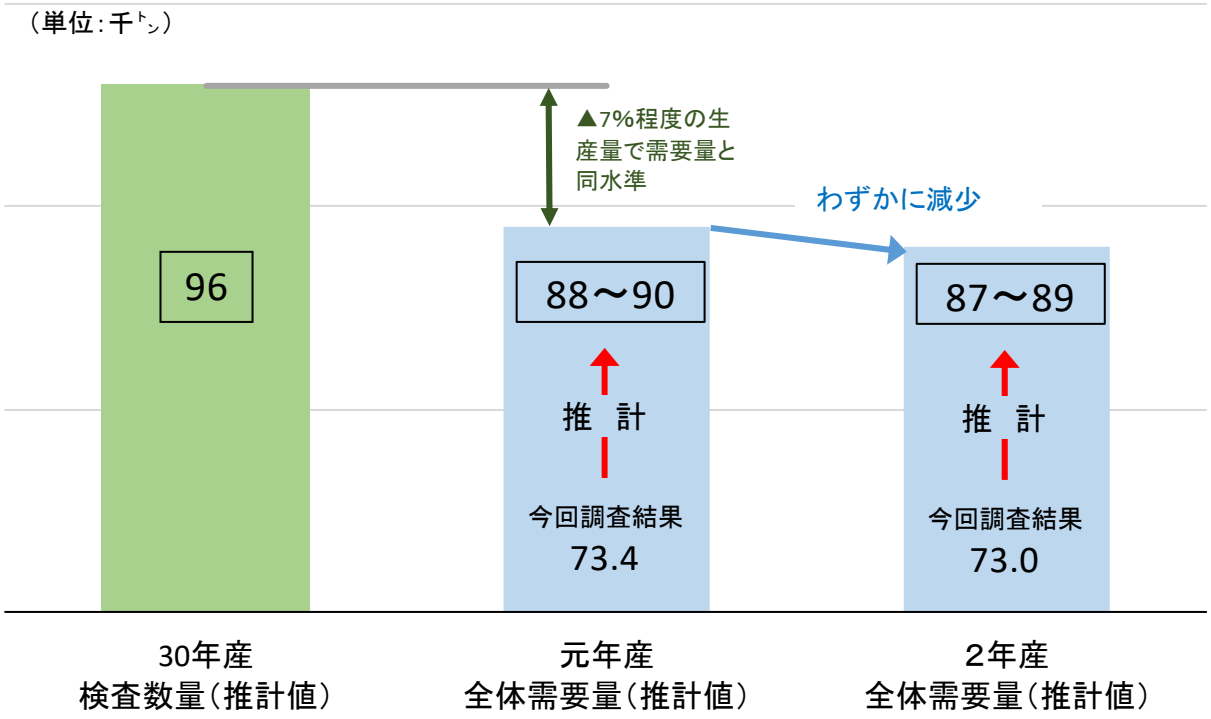
【令和２年産酒造好適米の需要量（推計値）】

農林水産省が本年7月に行った「酒造好適米等の需要量調査」の結果をまとめました。概要は次ページ以下でご紹介しています。より詳細な調査結果の内容は、下記URLよりご参照ください。
http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

【推計値について】

- 令和2年産酒造好適米の全体需要量は、87～89千㌧程度と推計され、令和元年産の全体需要量（88～90千㌧程度）から、わずかに減少する見通しです。
- 令和2年産の酒造好適米の作付けに当たって考慮すべき令和元年産の需給については、令和元年産酒造好適米の検査数量（生産量）が概ね明らかとなる来年1月に検証し、2月号のマンスリーレポートでお知らせします。

【 酒造好適米の全体需要量（推計値） 】



※1 「需要量（推計値）」は、各年産について今回調査で回答のあった酒造メーカーの需要量が、全体需要量の約82～84%と推計されるため、当該割合で除することにより推計。
※2 平成30年産の検査数量は、確定値が出るのが来年1月であるため、最新の速報値である平成31年3月31日現在の値を、直近3カ年の3月31日現在の検査進捗率により確定値見合いに推計した値となっている。

酒造好適米の需要に応じた生産に向けて

- 今後とも日本酒の国内外での円滑な出荷・販売のためには、原料となる酒造好適米についても需給均衡を図り、産地と実需者間で安定取引を図っていくことが重要です。
- 産地品種銘柄毎の需要動向等に応じた生産・販売を行うほか、より的確な需要に応じた生産に資するためには、は種前に生産者と需要者が契約を行うことや複数年契約の取組の拡大を推進することが重要です。

令和元年度酒造好適米等の需要量調査結果の概要

・　昨年に引き続き、酒造好適米の需要量を把握するため、日本酒の酒造メーカーを対象として本年７月に需要量調査を実施。

調査の概要

	平成30年度	令和元年度
調査期間	平成30年7月	令和元年7月
調査対象メーカー数	1,461社	1,430社
回答酒造メーカー数	716社	763社
回答率（数量ベース）	82～83%	82～84%

酒造好適米の需要量

平成29年産

平成29年産酒造好適米の需要量（実績）は、約77.7千㌧となった。

平成30年産

平成30年産酒造好適米の需要量（実績見込）は、平成29年産（実績）と比較して約５千㌧減の72.9千㌧程度。

これは、平成30年産が不作で酒造メーカーの購入希望数量を供給できない地域があったことや、平成30年の日本酒出荷量が大幅に減少したことに伴い、製造計画を下方修正した酒造メーカーがあったこと等によるとみられる。このため、全体需要量（推計値）は、昨年度調査結果に基づき推計した92～94千㌧から約５千㌧減の87～89千㌧と推計される。

令和元年産

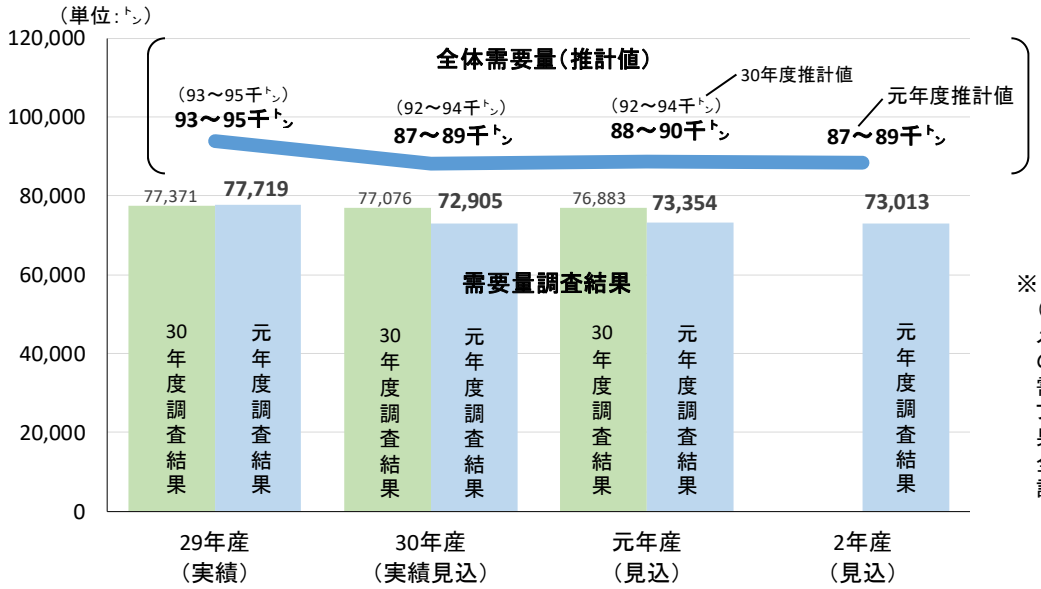
令和元年産酒造好適米の需要量（見込）は、平成30年産（実績見込）と比較し微増の約73.4千㌧。

これは、日本酒出荷量の減少に伴い、需要量を減少させた酒造メーカーがある一方、輸出向け等に需要量を増やした酒造メーカーや、平成30年産で希望数量に満たない数量しか購入できなかったため、在庫確保等のために需要量を増やした酒造メーカーがあったこと等によるとみられる。

令和２年産

令和２年産の酒造好適米の需要量（見込）は、日本酒出荷量が減少傾向にあるものの、令和元年産（見込）と比較しわずかに減少する73.0千㌧程度となった。

【　酒造好適米の需要量調査結果と全体需要量（推計値）　】



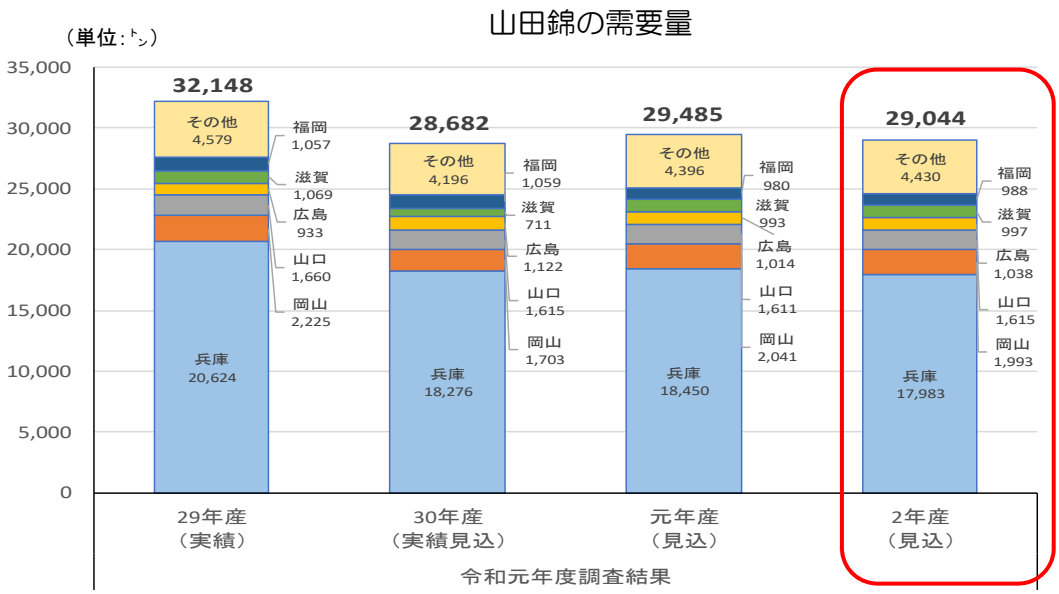
※　需要量調査結果（棒グラフ）は酒造メーカーからの回答の合計値で、全体需要量（折れ線グラフ）は需要量調査結果から酒造好適米全体の需要量を推計したもの。

主な酒造好適米の需要量（酒造メーカーからの回答分）

山田錦

○ 平成30年産は、不作により購入希望数量を供給できない地域（兵庫県等）があったことや、平成30年の日本酒出荷量が減少したことに伴い、製造計画を下方修正した酒造メーカーがあったこと等から、需要実績が平成29年産に比べて大幅に減少。

○ 平成30年産の購入数量が減少した分、一時的に令和元年産の需要量を増加させた酒造メーカーがあったこと等から、令和元年産では需要量が若干増加し、令和2年産は前年産からわずかな減少が見込まれている。



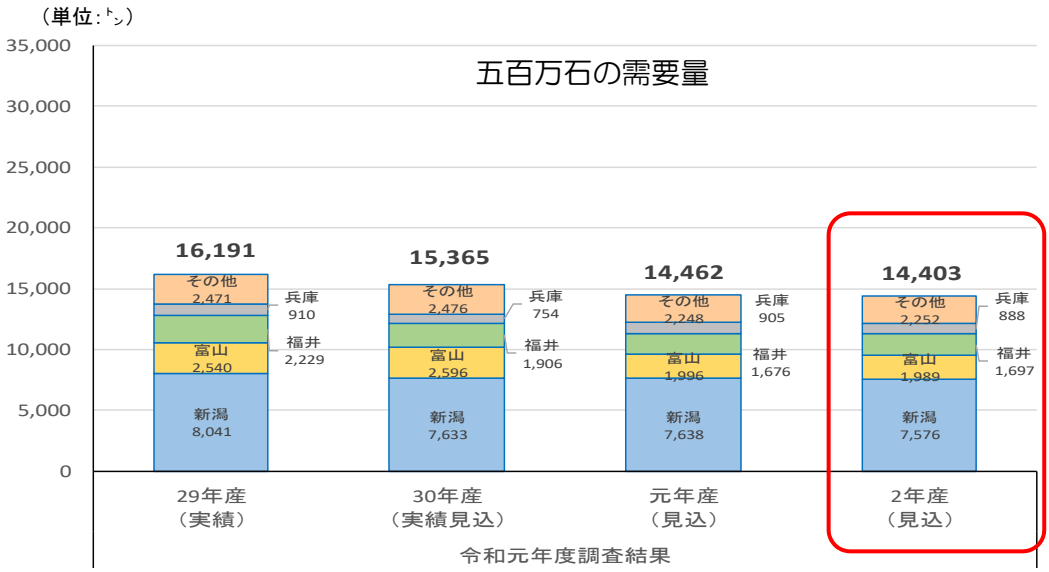
【参考】山田錦の生産量（検査数量）

37,257	38,431	34,011
（28年産）	（29年産）	（30年産（推計値））

五百万石

○ 平成29年産以降、総じて減少傾向となっているが、令和2年産は前年産並みの需要量が見込まれている。

○ 令和2年産の産地ごとの需要量は、全体の約5割を占める新潟県のほか、それ以外の産地についても、令和元年産に比べて総じて大きな変動は見られない状況。



【参考】五百万石の生産量（検査数量）

26,030	20,564	21,560
（28年産）	（29年産）	（30年産（推計値））

【 輸出される日本酒の原料に仕向けられた数量が多い上位30産地品種銘柄 】
（平成30年産輸出仕向量）

産地品種銘柄			30年産需要量			29年産需要量		
			（実績見込）①	輸出仕向量②	輸出割合②/③	（実績）④	輸出仕向量⑤	輸出割合⑤/④
1	兵庫	山田錦	18,276	468	2.6%	20,624	443	2.1%
2	新潟	五百万石	7,633	222	2.9%	8,041	189	2.4%
3	秋田	美山錦	1,368	135	9.9%	1,381	129	9.4%
4	長野	美山錦	2,519	89	3.5%	2,763	117	4.3%
5	山形	出羽燦々	1,143	72	6.3%	1,307	38	2.9%
6	北海道	吟風	1,242	60	4.8%	1,384	56	4.0%
7	岡山	雄町	1,453	57	3.9%	1,606	59	3.7%
8	福井	五百万石	1,906	54	2.8%	2,229	65	2.9%
9	兵庫	五百万石	754	53	7.0%	910	42	4.6%
10	新潟	越淡麗	985	51	5.2%	1,046	47	4.5%
11	福岡	山田錦	1,059	50	4.7%	1,057	50	4.7%
12	石川	五百万石	811	50	6.2%	836	63	7.5%
13	秋田	秋田酒こまち	2,012	44	2.2%	2,084	47	2.3%
14	島根	五百万石	402	43	10.7%	419	34	8.1%
15	新潟	菊水	82	41	50.0%	75	30	40.0%
16	富山	五百万石	2,596	40	1.5%	2,540	40	1.6%
17	広島	八反錦1号	1,591	35	2.2%	1,356	28	2.0%
18	鳥取	山田錦	220	31	13.9%	238	33	13.7%
19	北海道	彗星	372	28	7.5%	370	14	3.9%
20	兵庫	白鶴錦	419	24	5.8%	469	23	4.9%
21	岡山	山田錦	1,703	23	1.4%	2,225	36	1.6%
22	岐阜	ひだほまれ	475	23	4.9%	462	18	3.9%
23	長野	ひとごこち	1,105	22	2.0%	1,087	18	1.7%
24	兵庫	兵庫北錦	265	17	6.3%	270	14	5.3%
25	兵庫	兵庫夢錦	265	15	5.7%	318	13	4.1%
26	島根	山田錦	158	15	9.4%	144	15	10.1%
27	山形	出羽の里	462	14	3.0%	438	14	3.1%
28	奈良	山田錦	72	14	19.1%	64	9	14.2%
29	岩手	ぎんおとめ	289	12	4.2%	333	17	5.0%
30	高知	吟の夢	191	11	6.0%	134	7	5.3%

注： 輸出仕向量は、輸出仕向割合の回答があった酒造メーカーの数量であり、日本酒の輸出はしているものの、輸出仕向割合が未回答の酒造メーカーもあったため、実際の輸出仕向量・割合は調査結果よりも多い。

【 輸出される日本酒の原料に仕向けられた割合が多い上位30産地品種銘柄 】
（平成30年産輸出割合、輸出仕向量10ﾄﾝ以上）

産地品種銘柄			30年産需要量			29年産需要量		
			（実績見込）①	輸出仕向量②	輸出割合②/③	（実績）④	輸出仕向量⑤	輸出割合⑤/④
1	新潟	菊水	82	41	50.0%	75	30	40.0%
2	奈良	山田錦	72	14	19.1%	64	9	14.2%
3	島根	神の舞	53	10	18.9%	72	9	11.8%
4	鳥取	山田錦	220	31	13.9%	238	33	13.7%
5	島根	五百万石	402	43	10.7%	419	34	8.1%
6	秋田	美山錦	1,368	135	9.9%	1,381	129	9.4%
7	島根	山田錦	158	15	9.4%	144	15	10.1%
8	北海道	彗星	372	28	7.5%	370	14	3.9%
9	兵庫	五百万石	754	53	7.0%	910	42	4.6%
10	兵庫	兵庫北錦	265	17	6.3%	270	14	5.3%
11	山形	出羽燦々	1,143	72	6.3%	1,307	38	2.9%
12	石川	五百万石	811	50	6.2%	836	63	7.5%
13	高知	吟の夢	191	11	6.0%	134	7	5.3%
14	兵庫	白鶴錦	419	24	5.8%	469	23	4.9%
15	兵庫	兵庫夢錦	265	15	5.7%	318	13	4.1%
16	新潟	越淡麗	985	51	5.2%	1,046	47	4.5%
17	岐阜	ひだほまれ	475	23	4.9%	462	18	3.9%
18	北海道	吟風	1,242	60	4.8%	1,384	56	4.0%
19	福岡	山田錦	1,059	50	4.7%	1,057	50	4.7%
20	岩手	ぎんおとめ	289	12	4.2%	333	17	5.0%
21	岡山	雄町	1,453	57	3.9%	1,606	59	3.7%
22	長野	美山錦	2,519	89	3.5%	2,763	117	4.3%
23	京都	祝	339	11	3.2%	406	10	2.4%
24	山形	出羽の里	462	14	3.0%	438	14	3.1%
25	新潟	五百万石	7,633	222	2.9%	8,041	189	2.4%
26	福井	五百万石	1,906	54	2.8%	2,229	65	2.9%
27	兵庫	山田錦	18,276	468	2.6%	20,624	443	2.1%
28	広島	八反錦1号	1,591	35	2.2%	1,356	28	2.0%
29	秋田	秋田酒こまち	2,012	44	2.2%	2,084	47	2.3%
30	山形	美山錦	489	10	2.1%	551	12	2.1%

注： 輸出仕向量は、輸出仕向割合の回答があった酒造メーカーの数量であり、日本酒の輸出はしているものの、輸出仕向割合が未回答の酒造メーカーもあったため、実際の輸出仕向量・割合は調査結果よりも多い。

以上のほか、詳細な情報は、以下ＵＲＬにより「日本酒をめぐる状況及び酒造好適米の需要量調査結果」を参照ください。
ＵＲＬ：http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

目　次

特集①　令和元年産水稲の作付面積及び９月15日現在における作柄概況（令和元年９月30日公表）
令和元年産の水田における作付状況（令和元年９月15日現在・速報値）
特集②　令和２年産酒造好適米の需要量（推計値）

Ⅰ　米の需給・契約・販売
１　主食用米等の需給見通し（米の基本指針(令和元年７月31日)）
（１）平成30/令和元年の需要実績（速報値）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（２）令和元/２年の需要見通し（推計値）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（３）令和元/２年の需給見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

２　米の契約・販売
（１）政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果 ・・・・・・・・・・・・・・ 4
（２）平成30年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、令和元年８月末現在）（速報）　・・ 5
（３）都道府県別事前契約数量（速報）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

Ⅱ　米の在庫情報
（１）全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成25年７月末～令和２年６月末）（速報）　・・14
（２）産地別民間在庫の状況（前年同月比）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
（３）平成30・令和元年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）　・・・・・・・・・・・17

Ⅲ　米の価格情報
１　相対取引価格・数量
（１）相対取引価格（年産別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
（２）価格帯別分析結果（令和元年８月）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
（３）相対取引価格・数量（平成30年産米、産地品種銘柄別、令和元年８月分）（速報）　・・・27

２　スポット価格の状況（日本コメ市場株式会社）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
３　米の先物取引価格の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
４　米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和元年９月分）　・・・・・・・・・・・・・・33

Ⅳ　主食用米以外（輸出を含む）
１　30年産米の作付状況
（１）30年産米の用途別作付面積及び生産量・　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
（２）主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）　・・・・・・・・・・・・・・・・35
（３）新規需要米の用途別認定状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

２　加工用米及び新規需要米の取組状況概要
（１）29米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）　・・・・・・・・・・・・・・36
（２）加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

３　酒造好適米の需給状況
（１）日本酒の出荷状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
（２）日本酒原料米の使用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
（３）酒造好適米の生産量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
（４）酒造好適米の需要量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

４　飼料用米の需要量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
５　コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
６　コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について ・・・・・・・・・・・・・・・・43

Ⅴ　支援事業等
（１）水田活用の直接支払交付金 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
（２）畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
（３）米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）　・・・・・・・・・・・・・・・・・49
（４）主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業 ・・・・・・・・・・・51
（５）コメ海外市場拡大戦略プロジェクト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53

Ⅵ　消費動向

（１）米の消費動向（米穀機構による調査）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
（２）購入数量の推移（家計調査）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
（３）消費者物価指数の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
（４）小売物価統計の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
（５）米販売事業者における販売数量及び販売価格の動向　・・・・・・・・・・・・・・・・・・59
（６）中食・外食事業者の米の仕入状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
（７）小売価格の推移（ＰＯＳデータ）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61

Ⅶ　輸入米（ＭＡ米、ＣＰＴＰＰ・国別枠）の動向

１　ＭＡ米（一般、ＳＢＳ）

（１）ＭＡ米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
（２）加工原材料用に係る政府所有ＭＡ米の見積合わせ結果(平成31年度)　・・・・・・・・・・・63
（３）SBS輸入米の見積合わせ結果(令和元年度)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64

２　ＣＰＴＰＰ・国別枠の見積合わせ結果（令和元年度）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・65

Ⅷ　その他

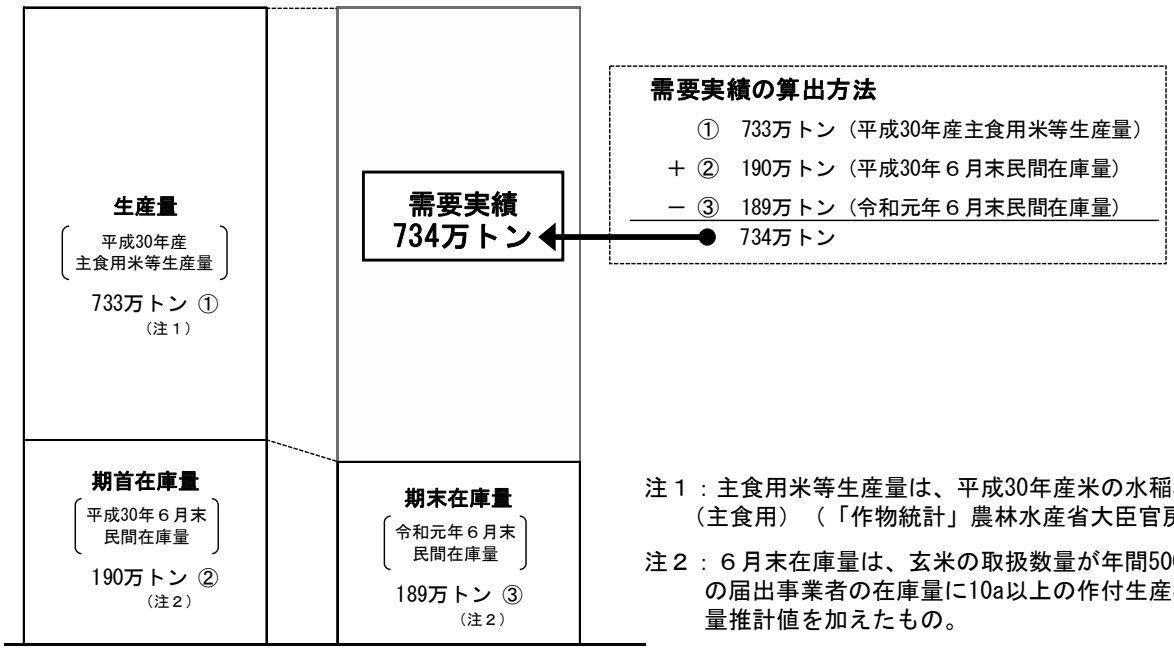
（１）水稲うるち玄米の農産物検査結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66

Ⅰ　米の需給・契約・販売

1　主食用米等の需給見通し（米の基本指針(令和元年７月31日)）

（１）　平成30/令和元年の需要実績（速報値）

- 平成30/令和元年（平成30年７月から令和元年６月までの１年間）の需要実績は、前年（740万トン）から６万トン減少し、734万トンとなった。
- 令和元年6月末民間在庫量は、前年から１万トン減少し、189万トンとなった。



注１：主食用米等生産量は、平成30年産米の水稲収穫量（主食用）（「作物統計」農林水産省大臣官房統計部）。

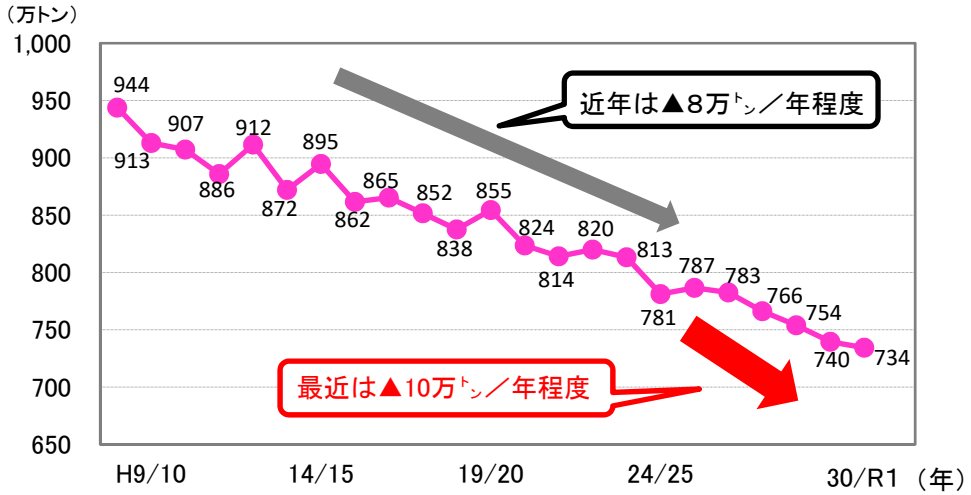
注２：６月末在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に10a以上の作付生産者の在庫量推計値を加えたもの。

（参考：６月末民間在庫量の推移）

（万トン）

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年（速報値）
民間在庫	213	175	182	184	161	212	216	181	180	224	220	226	204	199	190	189

（参考：主食用米の需要量の推移）



（2）　令和元/２年の需要見通し（推計値）

- 令和元/２年の需要見通しについては、平成30年11月の基本指針において採用した下記手法により算出し、726万トンと見通す。

【需要見通しの算出方法】

① 平成８/９年から平成30/令和元年までの需要実績をそれぞれ当該年の人口で除し、各年の１人当たり消費量を算出

② ①で算出した値を用いたトレンド（回帰式）で、令和元/２年（令和元年７月から令和２年６月まで）の１人当たり消費量（推計値）を算出

③ ②で算出した値に令和元年の人口（推計値）を乗じて算出

① 平成8/9年から平成30/令和元年までの１人当たり消費量を算出

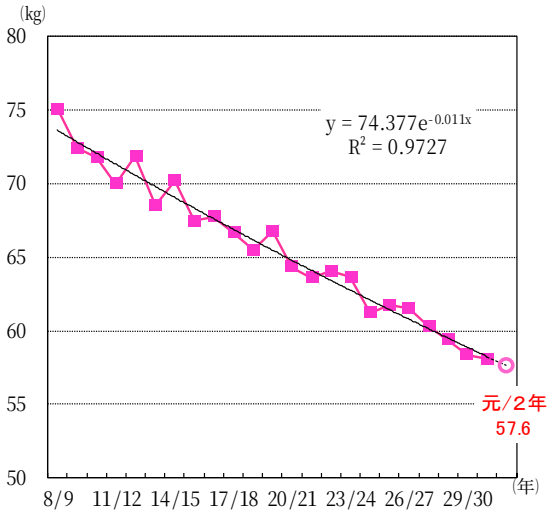
年	需要実績 ①	人口 ②	1人当たり消費量 ①/②
	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4
10/11	907.3	126,472	71.7
11/12	885.9	126,667	69.9
12/13	911.5	126,926	71.8
13/14	872.1	127,316	68.5
14/15	894.7	127,486	70.2
15/16	861.6	127,694	67.5
16/17	865.4	127,787	67.7
17/18	851.7	127,768	66.7
18/19	837.5	127,901	65.5
19/20	854.5	128,033	66.7
20/21	823.6	128,084	64.3
21/22	814.1	128,032	63.6
22/23	820.0	128,057	64.0
23/24	813.3	127,834	63.6
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	126,933	59.4
29/30	739.6	126,706	58.4
30/元	734.4	126,443	58.1

注：人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日現在の値である。

② 令和元/２年の１人当たり消費量（推計値）を算出

(単位：kg)

年	x	1人当たり消費量 (y)	
8/9	1	75.0	
9/10	2	72.4	
10/11	3	71.7	
11/12	4	69.9	
12/13	5	71.8	
13/14	6	68.5	
14/15	7	70.2	
15/16	8	67.5	
16/17	9	67.7	
17/18	10	66.7	
18/19	11	65.5	
19/20	12	66.7	
20/21	13	64.3	
21/22	14	63.6	
22/23	15	64.0	
23/24	16	63.6	
24/25	17	61.2	
25/26	18	61.7	
26/27	19	61.5	
27/28	20	60.3	
28/29	21	59.4	
29/30	22	58.4	
30/元	23	58.1	(速報値)
元/2	24	57.6	(推計値)



③ 令和元/２年の需要見通しを算出

	元/2年
1人当たり消費量（推計値） ①	57.6kg

	元年
人口（推計値） ②	126,038千人

	元/2年
需要見通し ①×②	726.4万トン

注1：人口（推計値）は、「人口推計（総務省平成 31年4月公表）」の総人口（平成30年10月 現在）に、「日本の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所平成29年4月公表）」の平成30年から令和元年までの総人口（出生中位・死亡中位推計）の減少率を乗じて算出した値。

注2：図中の需要見通しは、1人当たり消費量（推計値）の実数に、人口（推計値）の実数を乗じて算出した値のため、図中の1人当たり消費量（推計値）（小数点第2位を四捨五入）に人口（推計値）（小数点第1位を四捨五入）を乗じて算出した値とは一致しない。

（3）　令和元/２年の需給見通し

- 令和元年6月末民間在庫量189万トンに、平成30年11月の基本指針で設定した生産量718～726万トンを加えた供給量の計は907～915万トン。この供給量から令和元/２年の需要見通し726万トンを差し引くと、令和２年6月末民間在庫量は180～188万トンと見通される。

（単位：万トン）

令和元年6月末民間在庫量	A	189
令和元年産主食用米等生産量	B	718～726
令和元/2年主食用米等供給量計	C＝A＋B	907～915
令和元/2年主食用米等需要量	D	726
令和2年6月末民間在庫量	E＝C－D	180～188

注1：「主食用米等」の中には、主食用に供給されるもののほか、加工用途及び輸出用に供給されているものの一部が含まれている。
注2：上記の需給見通しのほか、SBS方式による輸入予定数量を最大とした数量が主食用等として流通する見通し。
注3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

＜令和元年産主食用米等生産量の見通し＞

令和２年６月末民間在庫量が安定供給を確保できる水準（180万トン）となる「718万トン」から主食用米等の需要量の見通しと同水準の「726万トン」までと８万トンの幅をもって設定。

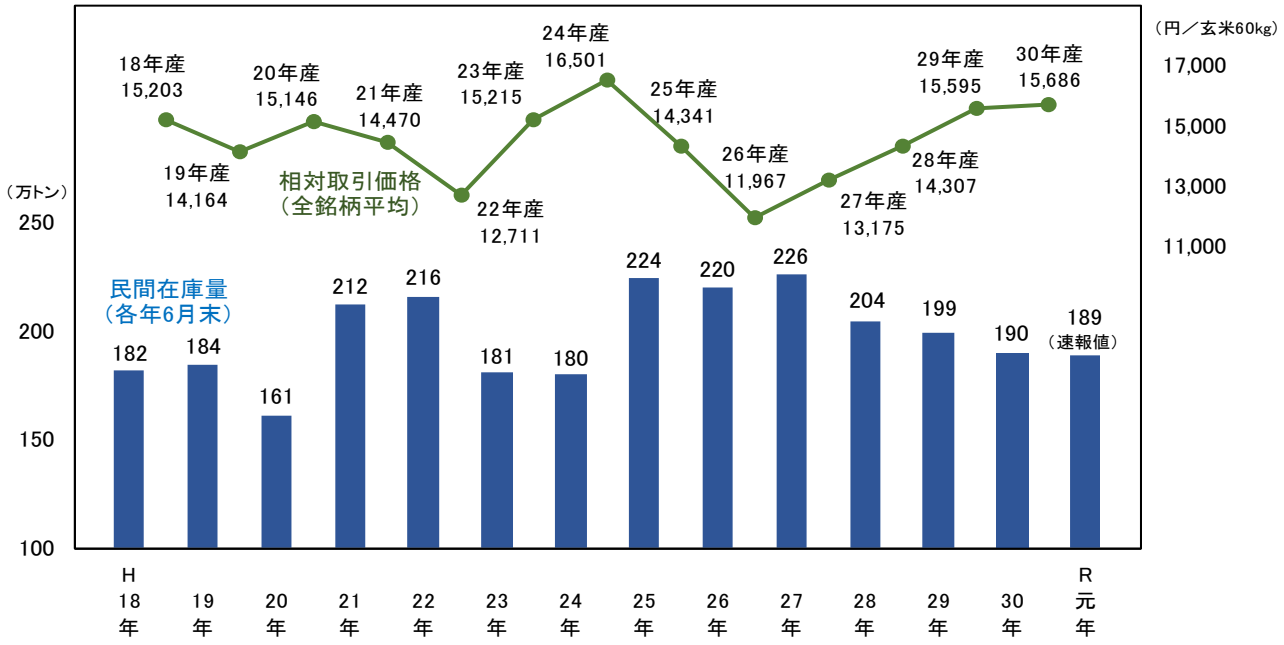
（参考）平成30年産（平成30年11月基本指針）との比較

平成30年産 735万トン ➡ 令和元年産 718万トン～726万トン

（前年比）▲17～▲9
▲2.3%～▲1.2%

（参考）相対取引価格と民間在庫量

- 相対取引価格は、その年々の需給状況により変動しているが、６月末における民間在庫量（生産、出荷、販売段階における在庫量）の水準もその要因の一つ。



注：相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月（30年産は元年8月）までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

2　米の契約・販売

（1）政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果

令和元年産

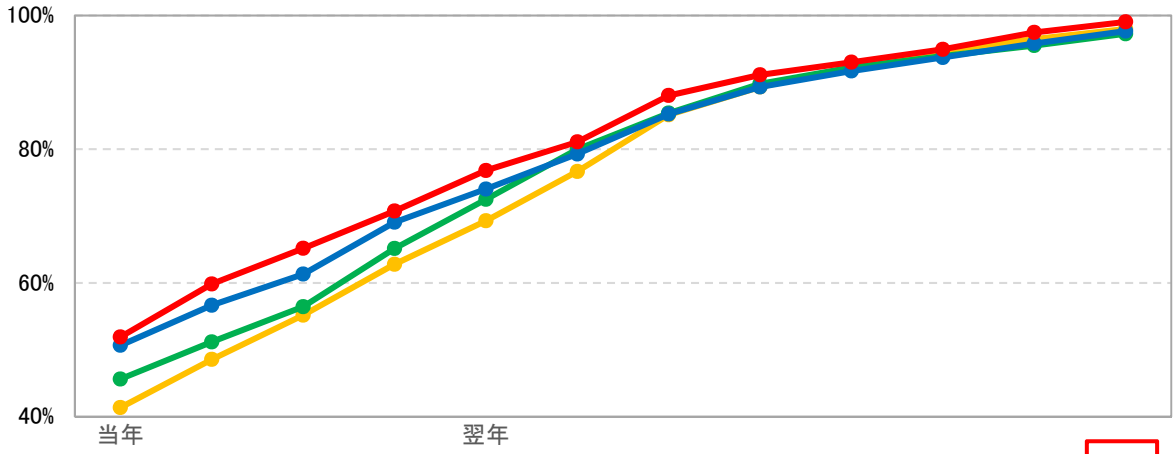
（単位：トン）

買入対象米穀の産地	都道府県別優先枠	買入入札の結果											落札合計数量
		第1回 平成31年1月29日実施	第2回 平成31年2月12日実施	第3回 平成31年3月5日実施	第4回 平成31年3月26日実施	第5回 平成31年4月16日実施	第6回 令和元年5月10日実施	第7回 令和元年5月23日実施	第8回 令和元年6月6日実施	第9回 令和元年6月27日実施	第10回 令和元年7月17日実施	第11回 令和元年8月27日実施	
北海道	4,200	0	0	51	0	1,211	0	0	0	900	0	0	2,162
青森	26,600	7,012	12,007	2,632	2,330	1,648	915	0	0	0	0	0	26,544
岩手	3,530	280	0	499	1,800	50	849	0	0	0	0	0	3,478
宮城	11,600	408	8,302	963	1,927	0	0	0	0	0	0	0	11,600
秋田	28,000	2,014	7,334	4,641	905	976	500	1,339	971	1,332	1,560	0	21,572
山形	30,500	281	73	19,332	520	3	35	1,008	27	12	0	0	21,291
福島	27,000	4,085	10,798	2,761	470	1,993	5,794	700	0	0	0	0	26,601
茨城	700	196	390	42	34	38	0	0	0	0	0	0	700
栃木	7,500	1,599	4,560	767	105	312	18	21	105	0	0	0	7,487
群馬	30	0	12	0	0	18	0	0	0	0	0	0	30
埼玉	220	94	126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	220
千葉	1,580	120	772	422	266	0	0	0	0	0	0	0	1,580
東京													
神奈川													
新潟	27,800	160	20,052	218	995	3,127	107	36	94	0	300	0	25,089
富山	17,400	129	11,141	702	80	0	0	0	30	115	0	0	12,197
石川	7,430	138	220	3,858	344	1,500	222	286	757	0	0	0	7,325
福井	4,500	30	2,728	189	567	0	338	18	0	150	30	0	4,050
山梨													
長野	1,500	20	230	100	0	0	0	1,076	0	0	0	0	1,426
岐阜	450	10	128	80	0	90	0	0	0	127	0	0	435
静岡	20	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	20
愛知	2,000	30	444	10	76	244	18	0	0	0	0	0	822
三重	270	60	0	0	0	0	0	0	0	188	0	0	248
滋賀	1,670	79	13	949	46	165	36	10	0	10	10	0	1,318
京都													
大阪													
兵庫													
奈良													
和歌山													
鳥取	700	0	0	100	0	0	100	100	100	0	0	0	400
島根	130	0	0	0	0	130	0	0	0	0	0	0	130
岡山	1,780	85	166	110	3	41	492	47	0	0	33	0	977
広島													
山口													
徳島	1,120	798	140	57	45	15	61	0	0	0	0	0	1,116
香川													
愛媛													
高知	10	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
福岡	270	0	119	44	20	0	2	79	0	0	0	0	264
佐賀	220	0	0	220	0	0	0	0	0	0	0	0	220
長崎	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10
熊本	290	0	20	56	0	111	42	0	0	18	0	0	247
大分	100	0	0	0	0	0	94	0	0	0	0	0	94
宮崎													
鹿児島													
沖縄													
都道府県別枠計	209,140	17,628	79,775	38,813	10,533	11,692	9,623	4,720	2,084	2,852	1,943	0	179,663
指定なし	0	0	0	0	0	2,898	285	819	703	508	352	86	5,651
合　計	209,140	17,628	79,775	38,813	10,533	14,590	9,908	5,539	2,787	3,360	2,295	86	185,314
うちCPTPP分													9,000

（2）平成30年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、令和元年８月末現在）（速報）

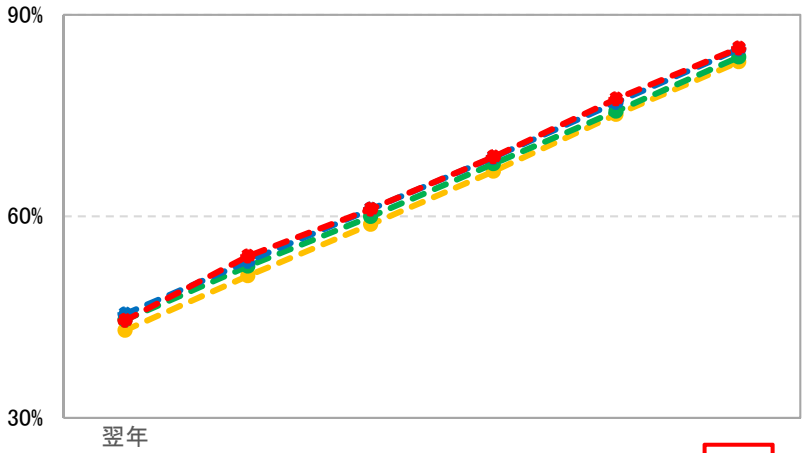
- 集荷数量は、対前年同月比▲5.1万トンの286万トン。
- 契約数量は、対前年同月比▲2.0万トンの283万トン。契約比率は、対前年同月比＋１％の99％
- 販売数量は、対前年同月比▲4.8万トンの243万トン。販売比率は、対前年同月比±0％の85％

契約比率の推移(平成27～30年産)



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
27年産	41%	49%	55%	63%	69%	77%	85%	89%	92%	95%	96%	98%
28年産	46%	51%	56%	65%	72%	80%	85%	90%	92%	94%	96%	97%
29年産	51%	57%	61%	69%	74%	79%	85%	89%	92%	94%	96%	98%
30年産	52%	60%	65%	71%	77%	81%	88%	91%	93%	95%	97%	99%

販売比率の推移(平成27～30年産)



	3月	4月	5月	6月	7月	8月
27年産	43%	51%	59%	67%	75%	83%
28年産	45%	53%	60%	68%	76%	84%
29年産	45%	53%	61%	69%	77%	85%
30年産	44%	54%	61%	69%	77%	85%

注：平成27～29年産は、各月末時点の契約・販売数量を生産年の翌年10月末の集荷数量で除して算出した最終実績ベース。
平成30年産は、各月末時点の契約・販売数量を令和元年８月末の集荷数量で除して算出した直近ベースのため、今後、集荷数量の増加に伴い契約・販売比率に変動が生じる場合がある。

集荷・契約・販売数量（累計、うるち米、令和元年8月末現在）（北海道から静岡まで）

	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考：前年同月比（29年産の同時期との比較） 集荷数量	契約数量	販売数量
	（千玄米トン）	（千玄米トン）		（千玄米トン）				
北海道	310.5	306.6	99%	266.3	86%	83%	86%	85%
ななつぼし	140.5	138.5	99%	122.4	87%	81%	81%	80%
ゆめぴりか	74.3	74.0	100%	64.0	86%	82%	88%	83%
きらら397	33.6	32.9	98%	23.8	71%	87%	86%	90%
青　森	149.6	139.9	94%	122.9	82%	103%	101%	105%
まっしぐら	103.2	96.0	93%	86.0	83%	108%	106%	113%
つがるロマン	36.1	33.7	93%	27.1	75%	93%	91%	92%
岩　手	129.5	128.0	99%	108.4	84%	104%	104%	101%
ひとめぼれ	99.6	98.3	99%	84.3	85%	103%	103%	99%
あきたこまち	14.9	14.9	100%	13.2	88%	89%	90%	98%
いわてっこ	2.8	2.8	100%	1.9	69%	111%	112%	118%
宮　城	170.1	180.1	106%	128.0	75%	109%	114%	104%
ひとめぼれ	135.4	142.9	106%	102.8	76%	107%	110%	102%
つや姫	11.9	12.8	108%	9.4	79%	103%	111%	105%
ササニシキ	8.1	8.6	106%	5.9	73%	93%	100%	89%
秋　田	251.5	250.9	100%	223.3	89%	103%	108%	108%
あきたこまち	202.2	202.4	100%	187.8	93%	102%	105%	107%
めんこいな	15.1	14.4	96%	10.4	69%	156%	160%	162%
ひとめぼれ	19.1	19.0	99%	14.9	78%	94%	94%	96%
山　形	186.4	187.4	101%	161.1	86%	91%	91%	94%
はえぬき	112.6	112.4	100%	94.1	84%	90%	89%	94%
つや姫	35.1	36.4	104%	32.6	93%	90%	94%	89%
ひとめぼれ	14.7	14.6	99%	13.4	91%	80%	80%	81%
福　島	158.8	153.4	97%	119.4	75%	97%	99%	99%
コシヒカリ中通り	45.9	44.4	97%	37.8	82%	89%	93%	89%
コシヒカリ会津	41.4	41.0	99%	24.0	58%	86%	86%	77%
コシヒカリ浜通り	7.6	7.1	94%	5.2	69%	77%	73%	76%
ひとめぼれ	29.9	28.8	96%	26.1	87%	101%	105%	117%
天のつぶ	20.7	19.8	95%	15.5	75%	157%	159%	162%
茨　城	71.7	70.3	98%	64.8	90%	99%	98%	100%
コシヒカリ	53.6	52.8	99%	48.0	90%	97%	96%	99%
あきたこまち	9.9	9.9	100%	9.9	100%	101%	101%	101%
ミルキークイーン	1.2	1.2	100%	1.2	100%	…	…	…
栃　木	136.4	133.2	98%	102.3	75%	111%	113%	108%
コシヒカリ	106.9	104.7	98%	78.7	74%	107%	109%	100%
あさひの夢	9.6	9.5	99%	7.7	80%	119%	121%	159%
なすひかり	9.0	8.5	94%	7.3	81%	123%	127%	127%
群　馬	25.0	24.3	97%	19.4	78%	96%	93%	91%
あさひの夢	17.6	17.1	98%	13.1	75%	99%	97%	93%
ゆめまつり	4.8	4.6	96%	4.3	88%	84%	80%	83%
埼　玉	18.4	17.8	97%	14.6	79%	87%	87%	93%
彩のかがやき	8.9	8.5	96%	7.4	84%	84%	85%	92%
コシヒカリ	4.7	4.6	98%	3.4	73%	75%	76%	68%
彩のきずな	3.5	3.4	98%	2.6	74%	112%	109%	151%
千　葉	79.6	78.1	98%	73.9	93%	105%	103%	101%
コシヒカリ	38.1	36.9	97%	34.3	90%	99%	99%	92%
ふさこがね	18.3	18.0	99%	17.2	94%	127%	116%	122%
ふさおとめ	17.9	17.9	100%	17.3	96%	102%	101%	102%
東　京	0.0	0.0	100%	0.0	100%	…	…	…
神奈川	2.3	2.0	88%	2.0	88%	91%	89%	89%
山　梨	5.9	4.8	82%	4.8	82%	95%	87%	87%
コシヒカリ	5.0	4.2	83%	4.2	83%	95%	87%	87%
長　野	67.2	65.7	98%	55.0	82%	98%	96%	98%
コシヒカリ	53.1	52.5	99%	44.2	83%	98%	97%	101%
あきたこまち	7.6	7.1	94%	5.5	72%	96%	91%	83%
静　岡	6.0	6.0	100%	6.0	100%	92%	92%	92%
コシヒカリ	4.0	4.0	100%	4.0	100%	93%	93%	93%
きぬむすめ	0.7	0.7	100%	0.7	100%	102%	102%	102%
あいちのかおり	0.8	0.8	100%	0.8	100%	85%	85%	85%

注：本表の注意点は次々頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量（累計、うるち米、令和元年8月末現在）（新潟から広島まで）

	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考：前年同月比（29年産の同時期との比較） 集荷数量	契約数量	販売数量
	（千玄米ﾄﾝ）	（千玄米ﾄﾝ）		（千玄米ﾄﾝ）				
新　潟	259.5	262.6	101%	238.2	92%	100%	102%	99%
コシヒカリ一般	125.2	125.5	100%	118.2	94%	89%	89%	89%
コシヒカリ魚沼	31.2	31.1	100%	29.7	95%	105%	107%	108%
コシヒカリ佐渡	11.9	11.8	99%	11.1	94%	87%	87%	86%
コシヒカリ岩船	10.4	10.6	102%	10.2	98%	93%	94%	97%
こしいぶき	46.1	46.7	101%	38.9	84%	119%	121%	112%
富　山	91.9	91.5	100%	84.0	91%	100%	101%	102%
コシヒカリ	70.5	70.4	100%	65.4	93%	95%	95%	96%
てんたかく	8.3	8.3	100%	7.7	92%	115%	116%	120%
石　川	27.2	27.1	100%	20.4	75%	106%	106%	96%
コシヒカリ	16.8	16.8	100%	12.2	72%	96%	96%	84%
ゆめみづほ	5.4	5.4	100%	4.1	76%	113%	113%	105%
福　井	70.1	69.7	100%	62.0	88%	104%	105%	101%
コシヒカリ	30.1	30.0	100%	27.0	90%	92%	92%	89%
ハナエチゼン	20.4	20.2	99%	19.1	94%	109%	109%	108%
岐　阜	20.1	19.5	97%	17.4	86%	75%	74%	86%
ハツシモ	7.6	7.2	96%	6.1	80%	55%	54%	68%
コシヒカリ	6.6	6.4	96%	6.1	92%	93%	91%	91%
あきたこまち	1.7	1.7	100%	1.6	94%	87%	87%	103%
愛　知	31.9	31.9	100%	27.1	85%	93%	93%	98%
あいちのかおり	16.9	17.3	102%	13.5	80%	93%	95%	99%
コシヒカリ	9.7	9.8	101%	9.0	93%	98%	99%	102%
大地の風	1.3	1.3	101%	1.1	87%	95%	96%	96%
三　重	28.7	28.8	100%	26.0	91%	102%	103%	101%
コシヒカリ一般	15.7	16.0	102%	14.6	93%	102%	103%	100%
コシヒカリ伊賀	5.9	5.8	98%	5.5	92%	96%	95%	99%
キヌヒカリ	2.1	2.1	100%	1.6	78%	97%	97%	85%
滋　賀	56.7	53.7	95%	49.2	87%	97%	92%	92%
コシヒカリ	20.6	19.4	94%	17.8	86%	94%	88%	86%
キヌヒカリ	10.8	9.9	92%	9.7	90%	98%	90%	99%
日本晴	4.7	4.3	91%	3.1	66%	95%	86%	87%
京　都	9.4	11.3	120%	8.2	88%	75%	91%	75%
コシヒカリ	5.4	6.8	127%	5.1	94%	76%	97%	80%
キヌヒカリ	2.2	2.6	119%	2.0	93%	74%	88%	75%
ヒノヒカリ	0.9	1.0	104%	0.7	71%	…	…	…
大　阪	－	－	－	－	－	…	…	…
兵　庫	40.1	37.7	94%	35.7	89%	98%	94%	114%
コシヒカリ	11.1	11.0	99%	11.0	99%	95%	95%	100%
ヒノヒカリ	3.7	3.4	92%	3.1	83%	80%	76%	88%
キヌヒカリ	3.4	3.2	96%	2.9	87%	97%	94%	99%
奈　良	7.9	7.0	88%	7.0	88%	90%	92%	92%
ヒノヒカリ	6.1	5.3	88%	5.3	88%	89%	93%	93%
和歌山	0.9	0.9	100%	0.9	100%	60%	60%	60%
鳥　取	22.4	21.6	97%	20.1	90%	107%	109%	110%
コシヒカリ	7.6	7.4	97%	7.0	93%	98%	100%	98%
きぬむすめ	8.4	8.1	96%	7.3	87%	115%	118%	120%
ひとめぼれ	5.9	5.7	97%	5.4	91%	108%	108%	111%
島　根	38.1	38.1	100%	33.7	88%	98%	101%	97%
コシヒカリ	16.6	16.6	100%	14.8	90%	92%	96%	89%
きぬむすめ	14.4	14.4	100%	12.4	86%	106%	108%	110%
つや姫	4.5	4.5	100%	4.1	91%	104%	104%	101%
岡　山	22.6	22.7	100%	16.7	74%	89%	89%	87%
アケボノ	6.7	6.7	100%	4.2	63%	89%	89%	88%
あきたこまち	1.8	1.8	100%	1.7	90%	89%	89%	87%
ヒノヒカリ	2.6	2.6	100%	2.1	79%	83%	84%	89%
広　島	32.5	40.3	124%	27.6	85%	94%	118%	89%
コシヒカリ	13.9	16.7	120%	12.6	91%	91%	110%	86%
あきさかり	5.9	6.6	113%	5.0	85%	…	…	…
あきろまん	3.1	4.2	136%	2.4	78%	82%	112%	75%

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量（累計、うるち米、令和元年8月末現在）（山口から沖縄まで、全国計）

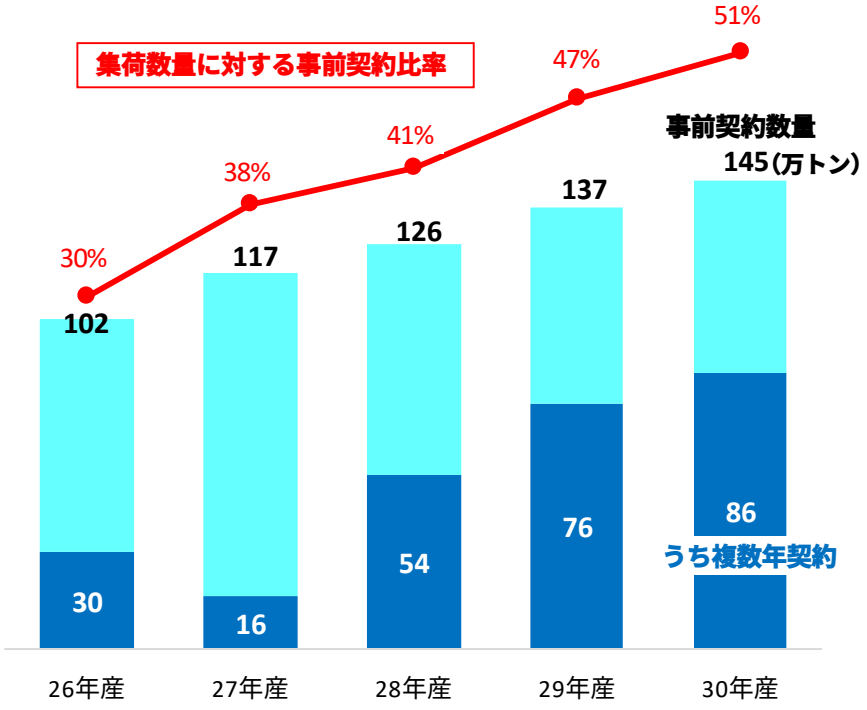
	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考：前年同月比（29年産の同時期との比較） 集荷数量	契約数量	販売数量
	（千玄米トン）	（千玄米トン）		（千玄米トン）				
山　口	40.2	40.0	100%	31.6	79%	122%	122%	122%
コシヒカリ	12.0	11.8	99%	10.3	86%	128%	127%	127%
ひとめぼれ	9.8	9.7	100%	8.2	84%	125%	125%	127%
ヒノヒカリ	8.6	8.6	99%	6.4	75%	124%	124%	126%
徳　島	4.9	4.9	100%	4.4	90%	92%	92%	83%
コシヒカリ	2.3	2.3	100%	2.2	95%	80%	80%	76%
キヌヒカリ	1.3	1.3	100%	1.1	87%	87%	87%	76%
香　川	21.7	19.6	90%	16.7	77%	92%	84%	84%
ヒノヒカリ	6.7	6.5	98%	4.6	69%	67%	65%	58%
コシヒカリ	7.6	7.2	94%	6.6	86%	100%	94%	91%
おいでまい	4.5	3.8	86%	3.5	77%	…	…	…
愛　媛	10.0	9.3	92%	9.0	90%	85%	86%	85%
コシヒカリ	4.0	3.9	97%	3.9	97%	91%	90%	90%
ヒノヒカリ	1.7	1.4	80%	1.4	80%	76%	72%	72%
あきたこまち	1.4	1.3	94%	1.3	94%	91%	91%	91%
高　知	8.4	8.3	98%	8.3	98%	122%	120%	120%
コシヒカリ	5.8	5.8	100%	5.8	100%	102%	102%	102%
ヒノヒカリ	0.9	0.9	96%	0.9	96%	396%	382%	382%
福　岡	52.9	51.9	98%	46.3	88%	98%	97%	96%
夢つくし	17.0	17.0	100%	16.3	96%	100%	100%	97%
ヒノヒカリ	14.0	13.8	99%	11.9	85%	96%	96%	95%
元気つくし	18.6	17.8	96%	16.0	86%	97%	96%	96%
佐　賀	42.0	42.0	100%	34.4	82%	98%	99%	93%
夢しずく	14.5	14.5	100%	11.2	77%	109%	109%	93%
さがびより	13.1	13.1	100%	11.4	87%	98%	98%	96%
ヒノヒカリ	9.3	9.3	100%	7.6	82%	92%	92%	92%
長　崎	11.5	11.4	99%	9.7	84%	100%	99%	94%
ヒノヒカリ	3.4	3.4	99%	3.1	89%	94%	93%	94%
にこまる	5.0	4.9	98%	4.0	79%	104%	102%	92%
コシヒカリ	1.4	1.4	100%	1.4	99%	88%	88%	90%
熊　本	38.0	34.0	89%	29.6	78%	102%	102%	91%
ヒノヒカリ	16.4	13.7	83%	12.8	78%	107%	99%	93%
森のくまさん	7.6	6.9	91%	5.6	75%	101%	101%	91%
コシヒカリ	5.7	5.7	100%	4.7	84%	88%	101%	91%
大　分	11.9	11.9	100%	8.7	74%	89%	89%	83%
ヒノヒカリ	8.0	8.0	100%	5.4	67%	85%	85%	75%
ひとめぼれ	0.9	0.9	101%	0.7	85%	100%	101%	96%
宮　崎	14.8	14.8	100%	14.2	96%	91%	91%	89%
コシヒカリ	8.5	8.5	100%	8.5	100%	85%	85%	85%
ヒノヒカリ	5.4	5.4	100%	4.9	91%	102%	102%	98%
鹿児島	12.2	12.2	100%	11.1	91%	91%	91%	88%
ヒノヒカリ	4.9	4.9	100%	4.0	82%	93%	93%	83%
コシヒカリ	3.5	3.5	100%	3.5	100%	89%	89%	89%
あきほなみ	1.7	1.7	100%	1.5	88%	79%	79%	80%
沖　縄	1.6	1.6	100%	1.5	99%	101%	101%	100%
全　国　①	2,855	2,828	99%	2,428	85%	98%	99%	98%
参考 前年同月(29年産) ②	2,906	2,848	98%	2,476	85%			
参考 前年同月差（①−②）	▲ 51	▲ 20	＋ 1%	▲ 48	±0%			

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注1 ：報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
注2 ：報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。
注3 ：集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。
注4 ：契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。
注5 ：販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。
注6 ：銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。
注7 ：全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。
注8 ：「－」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。
注9 ：「参考：前年同月比」で、30年産又は29年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

（3）都道府県別事前契約数量（速報）

- 事前契約数量は、近年増加傾向にあり、令和元年8月末現在、平成30年産は対29年産比６％増の145万トンとなっている。

【近年の主食用米の事前契約数量の推移】



注：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量であり、上記数量は各年産の収穫時点における最終実績である。

【30年産・元年産の各年8月末現在の都道府県別事前契約数量】

単位：千玄米トン

都道府県	（参考）30年産集荷数量	事前契約数量 30年産（平成30年8月末現在）①	事前契約数量 元年産（令和元年8月末現在）②	事前契約数量 対前年同月差 ②-①
北海道	310.5	177.4	200.2	22.7
青森	149.6	35.0	11.3	▲23.7
岩手	129.5	45.4	82.1	36.8
宮城	170.1	124.2	126.9	2.7
秋田	251.5	48.0	145.1	97.1
山形	186.4	19.1	21.0	1.8
福島	158.8	45.3	43.2	▲2.1
茨城	71.7	12.5	15.0	2.5
栃木	136.4	65.8	69.6	3.8
群馬	25.0	－	－	－
埼玉	18.4	9.2	1.8	▲7.4
千葉	79.6	10.3	8.1	▲2.2
東京	0.0	－	－	－
神奈川	2.3	－	－	－
山梨	5.9	－	－	－
長野	67.2	26.3	31.0	4.7
静岡	6.0	0.5	1.7	1.1
新潟	259.5	87.3	125.0	37.7
富山	91.9	0.7	0.7	－
石川	27.2	1.5	1.5	－
福井	70.1	8.3	8.7	0.4
岐阜	20.1	2.6	15.0	12.4
愛知	31.9	15.1	1.5	▲13.6
三重	28.7	20.0	20.0	0.0

都道府県	（参考）30年産集荷数量	事前契約数量 30年産（平成30年8月末現在）①	事前契約数量 元年産（令和元年8月末現在）②	事前契約数量 対前年同月差 ②-①
滋賀	56.7	46.0	7.7	▲38.3
京都	9.4	－	－	－
大阪	－	－	－	－
兵庫	40.1	－	13.0	13.0
奈良	7.9	－	－	－
和歌山	0.9	－	－	－
鳥取	22.4	－	4.1	4.1
島根	38.1	24.8	35.0	10.2
岡山	22.6	－	－	－
広島	32.5	3.7	24.7	21.0
山口	40.2	26.8	0.6	▲26.2
徳島	4.9	－	2.2	2.2
香川	21.7	－	3.3	3.3
愛媛	10.0	1.2	－	▲1.2
高知	8.4	2.0	3.8	1.8
福岡	52.9	33.0	0.6	▲32.4
佐賀	42.0	－	0.2	0.2
長崎	11.5	7.0	－	▲7.0
熊本	38.0	－	－	－
大分	11.9	3.5	4.0	0.5
宮崎	14.8	8.5	－	▲8.5
鹿児島	12.2	－	－	－
沖縄	1.6	－	－	－
全国	**2,855**	**911**	**1,029**	**118**

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：1　報告対象業者は、年間取扱数量5,000トン以上の出荷業者である。
　　2「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量であり、上記数量は各年産、生産年8月末時点における数量である。

- 令和元年産の令和元年8月末現在の事前契約数量は対前年同月差＋12万トンの103万トン、うち複数年契約数量は＋10万トンの83万トンとなっている。

【令和元年産・平成30年産　都道府県別事前契約状況】（生産年８月末現在）

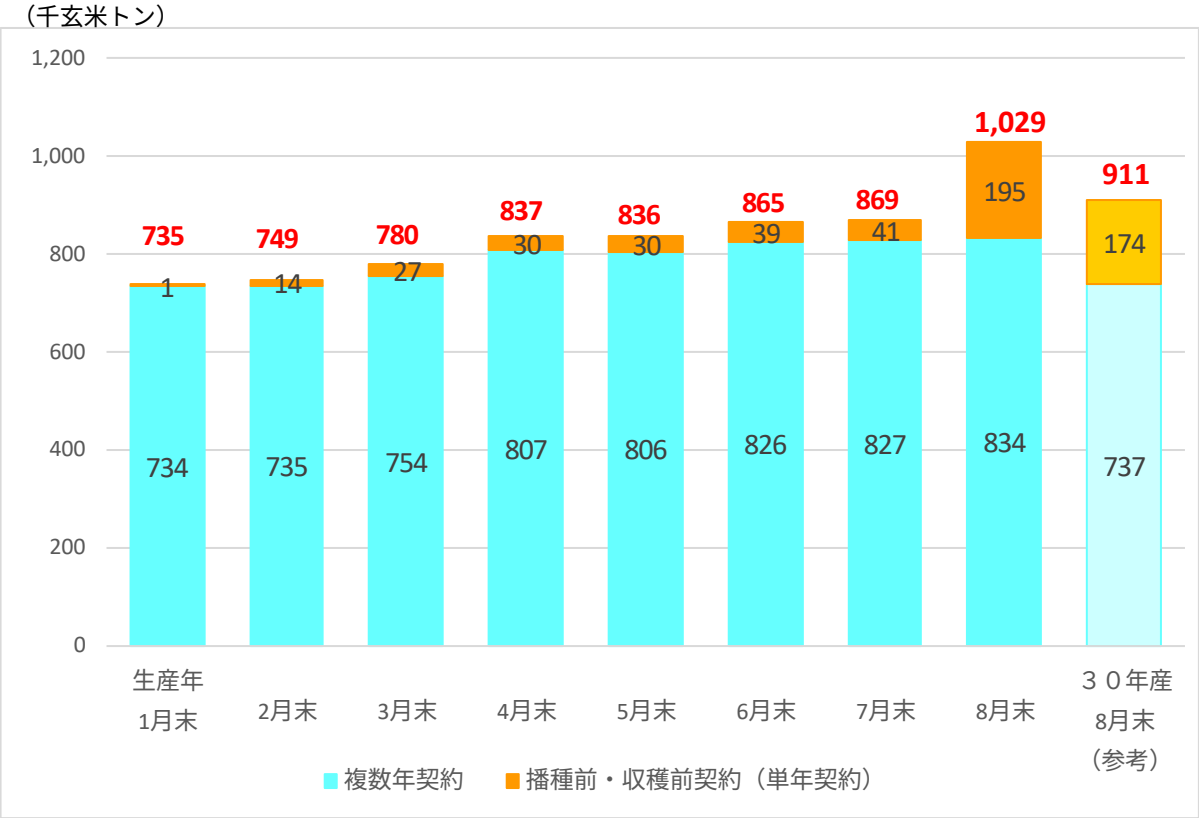
単位：千玄米トン

都道府県	平成30年産米（平成30年8月末現在）			令和元年産米（令和元年8月末現在）			対前年同月差		
	事前契約数量 ①	複数年契約 ②	播種前・収穫前契約 ③	事前契約数量 ④	複数年契約 ⑤	播種前・収穫前契約 ⑥	事前契約数量 ④-①	複数年契約 ⑤-②	播種前・収穫前契約 ⑥-③
北海道	177.4	177.4	－	200.2	175.0	25.2	22.7	▲2.5	25.2
青森	35.0	35.0	－	11.3	11.3	－	▲23.7	▲23.7	－
岩手	45.4	45.3	0.1	82.1	82.1	－	36.8	36.8	▲0.1
宮城	124.2	124.2	－	126.9	113.7	13.2	2.7	▲10.5	13.2
秋田	48.0	48.0	－	145.1	136.2	8.9	97.1	88.1	8.9
山形	19.1	19.1	－	21.0	21.0	－	1.8	1.8	－
福島	45.3	37.5	7.8	43.2	43.2	－	▲2.1	5.7	▲7.8
茨城	12.5	－	12.5	15.0	－	15.0	2.5	－	2.5
栃木	65.8	65.8	－	69.6	69.6	－	3.8	3.8	－
群馬	－	－	－	－	－	－	－	－	－
埼玉	9.2	－	9.2	1.8	0.6	1.2	▲7.4	0.6	▲8.0
千葉	10.3	10.3	－	8.1	8.1	－	▲2.2	▲2.2	－
東京	－	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川	－	－	－	－	－	－	－	－	－
山梨	－	－	－	－	－	－	－	－	－
長野	26.3	26.3	－	31.0	31.0	－	4.7	4.7	－
静岡	0.5	－	0.5	1.7	－	1.7	1.1	－	1.1
新潟	87.3	87.3	－	125.0	112.2	12.8	37.7	24.9	12.8
富山	0.7	0.7	－	0.7	0.7	－	－	－	－
石川	1.5	1.5	－	1.5	1.5	－	－	－	－
福井	8.3	8.3	－	8.7	8.7	－	0.4	0.4	－
岐阜	2.6	2.6	－	15.0	2.6	12.4	12.4	－	12.4
愛知	15.1	1.5	13.6	1.5	1.5	－	▲13.6	－	▲13.6
三重	20.0	－	20.0	20.0	－	20.0	0.0	－	0.0
滋賀	46.0	39.8	6.2	7.7	7.7	－	▲38.3	▲32.1	▲6.2
京都	－	－	－	－	－	－	－	－	－
大阪	－	－	－	－	－	－	－	－	－
兵庫	－	－	－	13.0	－	13.0	13.0	－	13.0
奈良	－	－	－	－	－	－	－	－	－
和歌山	－	－	－	－	－	－	－	－	－
鳥取	－	－	－	4.1	－	4.1	4.1	－	4.1
島根	24.8	3.2	21.6	35.0	2.9	32.1	10.2	▲0.3	10.5
岡山	－	－	－	－	－	－	－	－	－
広島	3.7	2.0	1.7	24.7	－	24.7	21.0	▲2.0	23.0
山口	26.8	0.8	26.0	0.6	0.6	－	▲26.2	▲0.2	▲26.0
徳島	－	－	－	2.2	－	2.2	2.2	－	2.2
香川	－	－	－	3.3	3.3	－	3.3	3.3	－
愛媛	1.2	－	1.2	－	－	－	▲1.2	－	▲1.2
高知	2.0	－	2.0	3.8	－	3.8	1.8	－	1.8
福岡	33.0	0.6	32.4	0.6	0.6	－	▲32.4	－	▲32.4
佐賀	－	－	－	0.2	－	0.2	0.2	－	0.2
長崎	7.0	－	7.0	－	－	－	▲7.0	－	▲7.0
熊本	－	－	－	－	－	－	－	－	－
大分	3.5	－	3.5	4.0	－	4.0	0.5	－	0.5
宮崎	8.5	－	8.5	－	－	－	▲8.5	－	▲8.5
鹿児島	－	－	－	－	－	－	－	－	－
沖縄	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全国	**911**	**737**	**174**	**1,029**	**834**	**195**	**118**	**97**	**21**
うち価格取決数量	**169**			**102**			**▲ 66**		

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：1　報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
　　2　報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。
　　3　事前契約数量とは、は種前・収穫前契約及び複数年契約のうち、確認書等により販売数量が決定している数量である。
　　4　価格取決数量とは、販売数量と販売価格又は販売価格水準（基準価格の90パーセントから110パーセントまでの範囲）が決定している数量である。
　　5　「－」は、事前契約数量に該当がないもの。

- 令和元年産の播種前・収穫前契約は、7月末時点では事前契約数量全体の4.7%にとどまっていたが、８月末時点では19.0%となっている。

【令和元年産の契約月別別事前契約数量の推移】



【令和元年産　業態区分別事前契約数量】（令和元年８月末現在）

単位：千玄米トン

	事前契約	複数年契約	播種前・収穫前契約
元年産	1,029	834	195
全国農業協同組合連合会 経済連及び県単一農協等 全集連・全集連系県集荷組合	996	811	186
単位農協 全集連系業者	32	23	9

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：１　報告対象業者は、年間取扱数量5,000トン以上の出荷業者である。
　　２　「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量である。

- 平成３０年産において事前契約を行っている都道府県は38道府県、うち複数年契約を行っている都道府県は23道県。
- また、平成２９年産と比べて事前契約数量が増加した都道府県は21県。

平成29・30年産　都道府県別事前契約数量の推移

単位：千玄米トン

	29年産 ①	30年産 ②	播種前・収穫前契約	複数年契約	前年差 ③=②-①	前年比 ④=②/①
1 秋田	90.5	183.1	97.2	86.0	+92.6	202%
2 栃木	64.8	73.1	2.0	71.1	+8.3	113%
3 宮城	118.7	124.5	16.4	108.1	+5.8	105%
4 富山	46.1	51.7	43.6	8.2	+5.6	112%
5 長野	27.4	32.5	0.7	31.8	+5.2	119%
6 愛媛	0.9	4.2	4.2	–	+3.3	473%
7 長崎	4.0	7.0	7.0	–	+3.0	175%
8 山口	24.4	27.1	26.2	0.8	+2.7	111%
9 兵庫	10.0	12.5	12.5	–	+2.6	126%
10 香川	14.1	16.4	16.4	–	+2.3	116%
11 山形	71.9	73.7	51.5	22.2	+1.8	102%
12 福井	6.8	8.3	–	8.3	+1.5	122%
13 熊本	15.8	17.1	17.1	–	+1.3	108%
14 広島	25.1	26.2	24.2	2.0	+1.1	105%
15 埼玉	8.2	9.2	8.6	0.6	+1.1	113%
16 岩手	91.3	92.2	9.9	82.4	+1.0	101%
17 愛知	14.5	15.1	13.5	1.5	+0.6	104%
18 岡山	–	0.5	0.5	–	+0.5	
19 鳥取	5.4	5.7	5.7	–	+0.3	105%
20 三重	19.8	20.0	20.0	–	+0.2	101%
21 福岡	32.9	33.0	32.4	0.6	+0.1	100%
22 群馬	0.1	0.1	0.1	–	+0.0	100%
23 高知	2.1	2.0	2.0	–	▲ 0.1	95%
24 佐賀	26.3	26.2	26.2	–	▲ 0.1	99%
25 宮崎	8.6	8.2	8.2	–	▲ 0.3	96%
26 石川	23.8	23.3	21.8	1.5	▲ 0.5	98%
27 静岡	2.5	1.9	1.9	–	▲ 0.6	77%
28 大分	5.9	5.3	5.3	–	▲ 0.6	89%
29 福島	50.2	49.5	7.8	41.8	▲ 0.7	99%
30 島根	35.0	34.2	31.0	3.2	▲ 0.7	98%
31 京都	8.0	7.1	7.1	–	▲ 0.9	89%
32 徳島	0.9	–	–	–	▲ 0.9	
33 青森	54.1	52.4	15.2	37.2	▲ 1.7	97%
34 滋賀	43.0	40.0	3.5	36.5	▲ 3.0	93%
35 岐阜	13.9	9.2	6.6	2.6	▲ 4.7	66%
36 新潟	166.1	159.9	32.7	127.2	▲ 6.2	96%
37 茨城	24.5	16.0	13.5	2.5	▲ 8.5	65%
38 北海道	183.1	174.6	1.2	173.3	▲ 8.5	95%
39 千葉	27.9	10.3	–	10.3	▲ 17.5	37%
40 東京						
神奈川						
山梨						
大阪						
奈良						
和歌山						
鹿児島						
沖縄						
全国	1,369	1,454	594	860	+85	106%

注1：29年産は生産年の翌年10月末時点、30年産は元年8月末時点の数量である。
注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

平成29・30年産　都道府県別事前契約状況

単位：千玄米トン

都道府県	29年産					30年産（令和元年8月末現在）				
	集荷数量 ①	うち事前契約 ②	事前契約比率 ②/①	うち複数年契約 ③	複数年契約比率 ③/①	集荷数量 ④	うち事前契約 ⑤	事前契約比率 ⑤/④	うち複数年契約 ⑥	複数年契約比率 ⑥/④
北海道	373.0	183.1	49%	142.6	38%	310.5	174.6	56%	173.3	56%
青　森	145.6	54.1	37%	37.0	25%	149.6	52.4	35%	37.2	25%
岩　手	124.9	91.3	73%	83.1	67%	129.5	92.2	71%	82.4	64%
宮　城	155.8	118.7	76%	103.7	67%	170.1	124.5	73%	108.1	64%
秋　田	243.5	90.5	37%	62.8	26%	251.5	183.1	73%	86.0	34%
山　形	207.8	71.9	35%	19.8	10%	186.4	73.7	40%	22.2	12%
福　島	165.1	50.2	30%	43.7	26%	158.8	49.5	31%	41.8	26%
茨　城	72.4	24.5	34%	2.5	3%	71.7	16.0	22%	2.5	3%
栃　木	122.7	64.8	53%	64.8	53%	136.4	73.1	54%	71.1	52%
群　馬	26.2	0.1	0%	－	－	25.0	0.1	0%	－	－
埼　玉	21.2	8.2	38%	－	－	18.4	9.2	50%	0.6	3%
千　葉	75.6	27.9	37%	10.3	14%	79.6	10.3	13%	10.3	13%
東　京	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
神奈川	2.5	－	－	－	－	2.3	－	－	－	－
山　梨	6.3	－	－	－	－	5.9	－	－	－	－
長　野	68.8	27.4	40%	25.7	37%	67.2	32.5	48%	31.8	47%
静　岡	6.6	2.5	38%	－	－	6.0	1.9	32%	－	－
新　潟	258.4	166.1	64%	106.7	41%	259.5	159.9	62%	127.2	49%
富　山	92.1	46.1	50%	8.6	9%	91.9	51.7	56%	8.2	9%
石　川	25.7	23.8	93%	1.5	6%	27.2	23.3	86%	1.5	6%
福　井	67.1	6.8	10%	6.8	10%	70.1	8.3	12%	8.3	12%
岐　阜	26.8	13.9	52%	2.6	10%	20.1	9.2	46%	2.6	13%
愛　知	34.4	14.5	42%	－	－	31.9	15.1	47%	1.5	5%
三　重	28.0	19.8	71%	－	－	28.7	20.0	70%	－	－
滋　賀	58.3	43.0	74%	34.2	59%	56.7	40.0	71%	36.5	64%
京　都	12.6	8.0	64%	－	－	9.4	7.1	76%	－	－
大　阪	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
兵　庫	40.9	10.0	24%	－	－	40.1	12.5	31%	－	－
奈　良	8.7	－	－	－	－	7.9	－	－	－	－
和歌山	1.5	－	－	－	－	0.9	－	－	－	－
鳥　取	21.1	5.4	26%	－	－	22.4	5.7	25%	－	－
島　根	39.0	35.0	90%	3.3	8%	38.1	34.2	90%	3.2	8%
岡　山	25.5	－	－	－	－	22.6	0.5	2%	－	－
広　島	34.7	25.1	72%	2.0	6%	32.5	26.2	81%	2.0	6%
山　口	32.8	24.4	74%	0.7	2%	40.2	27.1	67%	0.8	2%
徳　島	5.3	0.9	17%	－	－	4.9	－	－	－	－
香　川	23.7	14.1	59%	－	－	21.7	16.4	76%	－	－
愛　媛	11.8	0.9	7%	－	－	10.0	4.2	42%	－	－
高　知	6.9	2.1	30%	－	－	8.4	2.0	23%	－	－
福　岡	53.9	32.9	61%	0.6	1%	52.9	33.0	62%	0.6	1%
佐　賀	42.6	26.3	62%	－	－	42.0	26.2	62%	－	－
長　崎	11.7	4.0	34%	－	－	11.5	7.0	61%	－	－
熊　本	37.5	15.8	42%	－	－	38.0	17.1	45%	－	－
大　分	13.5	5.9	44%	－	－	11.9	5.3	45%	－	－
宮　崎	16.2	8.6	53%	－	－	14.8	8.2	55%	－	－
鹿児島	13.4	－	－	－	－	12.2	－	－	－	－
沖　縄	1.5	－	－	－	－	1.6	－	－	－	－
全　国	2,914	1,369	47%	763	26%	2,855	1,454	51%	860	30%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注１：報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
２：報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。
３：29年産は生産年の翌年10月末時点、30年産は元年8月末時点の数量である。
４：集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。
５：事前契約分とは、注４の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。
６：全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、都道府県の合計と一致しない。
７：「－」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

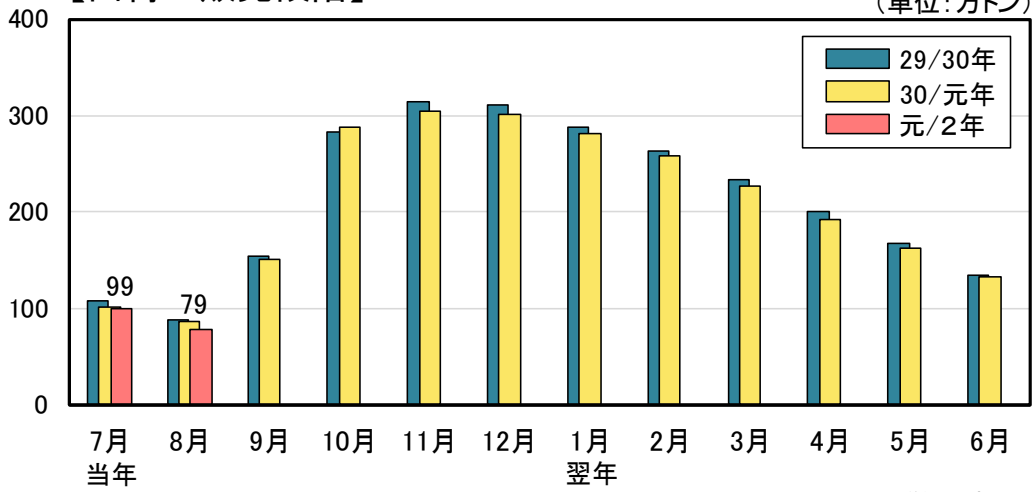
Ⅱ　米の在庫情報

（１）全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

- 令和元年８月末の出荷及び販売段階における在庫は、対前年同月比▲８万トンの79万トンとなっている。

※　産地別の在庫量は、17頁以降参照。

【出荷＋販売段階】



（単位：万玄米トン）

	当年7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月	4月	5月	6月
25/26年	120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+36	+27	+29	+33	+33
25年産米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
1年古米（24年産）	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	(注7)119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米（25年産）	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	321	341	337	314	287	254	218	183	147
対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲26	▲24	▲21
27年産米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
1年古米（26年産）	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年	114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8	▲8	▲6	▲6	▲5	▲7	▲7
28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
1年古米（27年産）	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米（28年産）	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米（29年産）	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/２年	99	79										
対前年差	▲3	▲8										
元年産米	1	13										
1年古米（30年産）	95	66										

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：１　水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
　　２　出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
　　３　販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
　　４　期間については、元/２年であれば、元年７月～２年６月である。
　　５　年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と１年古米の計と一致しない。
　　６　26年産米以降は、政府備蓄米を含まない。それ以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。
　　７　米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年７月以降の在庫に含まれていない。

【出荷段階】

（単位：万玄米トン）

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25 年 産 米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1 年古米（24年産）	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26 年 産 米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1 年古米（25年産）	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	117
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲22	▲24	▲21	▲22	▲21
27 年 産 米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1 年古米（26年産）	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89	70	145	261	284	276	260	236	201	170	142	112
対前年差	▲16	▲20	▲12	▲17	▲11	▲16	▲13	▲12	▲9	▲7	▲7	▲5
28 年 産 米	1	11	108	239	268	265	252	230	197	167	139	111
1 年古米（27年産）	84	56	35	19	14	9	6	5	3	2	2	1
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29 年 産 米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1 年古米（28年産）	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30 年 産 米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1 年古米（29年産）	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/２年	74	55										
対前年差	▲2	▲7										
元 年 産 米	0	10										
1 年古米（30年産）	73	48										

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

【販売段階】

（単位：万玄米トン）

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	47	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25 年 産 米	0	3	13	25	27	29	27	25	28	26	21	20
1 年古米（24年産）	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26 年 産 米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1 年古米（25年産）	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	±0
27 年 産 米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1 年古米（26年産）	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25	24	32	53	53	53	46	45	47	42	35	29
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8	+5	+7	+3	+2	±0	▲2
28 年 産 米	0	3	14	28	31	35	31	33	37	34	28	25
1 年古米（27年産）	19	16	13	20	17	13	9	7	6	4	3	3
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29 年 産 米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1 年古米（28年産）	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	31
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	±0
30 年 産 米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1 年古米（29年産）	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/２年	26	24										
対前年差	±0	▲1										
元 年 産 米	0	3										
1 年古米（30年産）	22	19										

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

（２）産地別民間在庫の状況（前年同月比）

平成30年産（令和元年8月末）

【出荷＋販売段階】

（単位：千トン）

産　地	30年産 (R1.8末)	29年産 (H30.8末)	前年同月比	産　地	30年産 (R1.8末)	29年産 (H30.8末)	前年同月比
北海道	70.1	83.9	84%	滋　賀	12.5	8.5	148%
青　森	42.3	49.2	86%	京　都	2.3	2.7	86%
岩　手	28.3	25.6	110%	大　阪	0.3	0.7	42%
宮　城	53.0	46.0	115%	兵　庫	12.6	13.1	96%
秋　田	40.1	50.9	79%	奈　良	1.5	1.7	91%
山　形	38.4	45.8	84%	和歌山	0.3	0.6	49%
福　島	54.4	56.1	97%	鳥　取	5.6	7.0	79%
茨　城	17.7	20.6	86%	島　根	6.2	5.6	111%
栃　木	46.3	41.0	113%	岡　山	13.8	14.8	93%
群　馬	7.8	7.4	105%	広　島	7.7	6.2	125%
埼　玉	6.8	10.6	65%	山　口	9.7	8.5	114%
千　葉	12.2	11.2	109%	徳　島	1.8	1.7	104%
東　京	0.0	0.0	－	香　川	5.7	4.2	135%
神奈川	0.3	0.3	97%	愛　媛	1.9	1.9	100%
新　潟	33.7	29.4	115%	高　知	1.3	2.2	60%
富　山	13.4	13.3	101%	福　岡	12.8	9.9	130%
石　川	10.8	8.0	135%	佐　賀	8.8	6.6	133%
福　井	12.2	9.2	133%	長　崎	2.2	1.5	139%
山　梨	1.3	0.9	151%	熊　本	15.3	9.3	164%
長　野	16.2	16.2	100%	大　分	5.4	5.2	104%
岐　阜	6.6	9.0	74%	宮　崎	1.8	1.3	138%
静　岡	0.9	1.2	74%	鹿児島	5.7	2.8	201%
愛　知	7.6	9.6	80%	沖　縄	0.0	0.0	－
三　重	5.9	3.5	168%	全国計	662	665	99%

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注１：　水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

注２：　出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

注３：　販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

（3）平成30・令和元年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

（単位：千玄米トン）

		元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷＋販売段階	108.9	75.3										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	102.5	70.1										
	出荷段階	78.7	48.8										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	77.8	48.1										
	販売段階	30.3	26.5										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	24.6	21.9										
青森	出荷＋販売段階	59.5	43.1										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	58.4	42.3										
	出荷段階	42.6	29.4										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	42.6	29.4										
	販売段階	16.9	13.7										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	15.8	12.9										
岩手	出荷＋販売段階	43.8	29.3										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	42.5	28.3										
	出荷段階	35.7	22.4										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	35.1	21.9										
	販売段階	8.1	6.9										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	7.4	6.4										
宮城	出荷＋販売段階	69.2	54.3										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	67.1	53.0										
	出荷段階	54.8	41.1										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	54.2	41.1										
	販売段階	14.5	13.2										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	12.9	12.0										
秋田	出荷＋販売段階	66.1	41.2										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	64.4	40.1										
	出荷段階	52.6	30.0										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	52.2	29.7										
	販売段階	13.4	11.2										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	12.2	10.4										

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1　水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
　　2　出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
　　3　販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

（山形から埼玉）

（単位：千玄米トン）

		元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷＋販売段階	53.7	40.4										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	51.1	38.4										
	出荷段階	42.5	29.0										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	41.8	28.5										
	販売段階	11.2	11.4										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	9.3	9.9										
福島	出荷＋販売段階	79.0	56.0										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	76.5	54.4										
	出荷段階	60.1	41.1										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	59.3	40.8										
	販売段階	18.9	14.8										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	17.3	13.6										
茨城	出荷＋販売段階	29.8	33.6										
	元年産米		14.6										
	1年古米（30年産）	28.2	17.7										
	出荷段階	16.5	18.5										
	元年産米		8.9										
	1年古米（30年産）	16.3	9.4										
	販売段階	13.3	15.1										
	元年産米		5.8										
	1年古米（30年産）	12.0	8.2										
栃木	出荷＋販売段階	65.5	47.0										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	64.3	46.3										
	出荷段階	49.6	34.3										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	49.5	34.3										
	販売段階	15.9	12.7										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	14.8	12.0										
群馬	出荷＋販売段階	10.9	7.9										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	10.7	7.8										
	出荷段階	8.6	5.6										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	8.6	5.6										
	販売段階	2.3	2.3										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	2.0	2.1										
埼玉	出荷＋販売段階	10.3	7.8										
	元年産米		0.6										
	1年古米（30年産）	9.8	6.8										
	出荷段階	7.3	4.8										
	元年産米		0.3										
	1年古米（30年産）	7.2	4.5										
	販売段階	3.0	3.0										
	元年産米		0.3										
	1年古米（30年産）	2.6	2.3										

（千葉から静岡）

（単位：千玄米トン）

		元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷＋販売段階	19.3	45.9										
	元年産米		33.4										
	1年古米（30年産）	19.0	12.2										
	出荷段階	9.5	35.3										
	元年産米		29.1										
	1年古米（30年産）	9.5	6.1										
	販売段階	9.8	10.6										
	元年産米		4.3										
	1年古米（30年産）	9.5	6.1										
東京	出荷＋販売段階	0.0	0.0										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.0	0.0										
	出荷段階												
	元年産米												
	1年古米（30年産）												
	販売段階	0.0	0.0										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.0	0.0										
神奈川	出荷＋販売段階	0.4	0.3										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.4	0.3										
	出荷段階	0.4	0.3										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.4	0.3										
	販売段階	0.0	0.0										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.0	0.0										
山梨	出荷＋販売段階	1.9	1.4										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	1.8	1.3										
	出荷段階	1.6	1.1										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	1.5	1.1										
	販売段階	0.3	0.3										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.3	0.3										
長野	出荷＋販売段階	22.4	16.6										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	21.9	16.2										
	出荷段階	18.4	13.0										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	18.3	12.9										
	販売段階	4.0	3.6										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	3.6	3.3										
静岡	出荷＋販売段階	2.0	3.8										
	元年産米		2.8										
	1年古米（30年産）	1.9	0.9										
	出荷段階	0.5	1.5										
	元年産米		1.4										
	1年古米（30年産）	0.5	0.1										
	販売段階	1.5	2.4										
	元年産米		1.5										
	1年古米（30年産）	1.5	0.8										

（新潟から愛知）

（単位：千玄米トン）

		元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷＋販売段階	58.9	35.1										
	元年産米		0.5										
	1年古米（30年産）	57.9	33.7										
	出荷段階	45.2	23.3										
	元年産米		0.4										
	1年古米（30年産）	44.9	22.6										
	販売段階	13.7	11.7										
	元年産米		0.1										
	1年古米（30年産）	13.0	11.0										
富山	出荷＋販売段階	21.7	14.6										
	元年産米		1.0										
	1年古米（30年産）	21.4	13.4										
	出荷段階	15.8	9.2										
	元年産米		0.5										
	1年古米（30年産）	15.8	8.7										
	販売段階	5.9	5.4										
	元年産米		0.5										
	1年古米（30年産）	5.7	4.8										
石川	出荷＋販売段階	17.1	13.5										
	元年産米		2.2										
	1年古米（30年産）	16.5	10.8										
	出荷段階	12.5	9.1										
	元年産米		0.7										
	1年古米（30年産）	12.3	8.2										
	販売段階	4.7	4.4										
	元年産米		1.4										
	1年古米（30年産）	4.3	2.6										
福井	出荷＋販売段階	19.0	14.8										
	元年産米		2.5										
	1年古米（30年産）	18.8	12.2										
	出荷段階	14.3	9.8										
	元年産米		1.1										
	1年古米（30年産）	14.3	8.8										
	販売段階	4.7	5.0										
	元年産米		1.4										
	1年古米（30年産）	4.5	3.4										
岐阜	出荷＋販売段階	8.7	8.2										
	元年産米		1.1										
	1年古米（30年産）	8.1	6.6										
	出荷段階	5.1	3.9										
	元年産米		0.8										
	1年古米（30年産）	5.0	3.1										
	販売段階	3.6	4.3										
	元年産米		0.4										
	1年古米（30年産）	3.0	3.5										
愛知	出荷＋販売段階	10.8	8.6										
	元年産米		0.7										
	1年古米（30年産）	10.4	7.6										
	出荷段階	8.1	5.9										
	元年産米		0.2										
	1年古米（30年産）	7.9	5.6										
	販売段階	2.8	2.7										
	元年産米		0.5										
	1年古米（30年産）	2.4	2.0										

（三重から奈良）

（単位：千玄米トン）

		元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷＋販売段階	10.0	15.5										
	元年産米		8.6										
	1年古米（30年産）	8.8	5.9										
	出荷段階	6.0	10.5										
	元年産米		6.9										
	1年古米（30年産）	5.2	2.8										
	販売段階	4.0	5.0										
	元年産米		1.7										
	1年古米（30年産）	3.7	3.0										
滋賀	出荷＋販売段階	19.0	14.8										
	元年産米		1.4										
	1年古米（30年産）	17.8	12.5										
	出荷段階	15.1	11.3										
	元年産米		1.2										
	1年古米（30年産）	14.1	9.4										
	販売段階	4.0	3.6										
	元年産米		0.2										
	1年古米（30年産）	3.7	3.1										
京都	出荷＋販売段階	3.6	2.4										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	3.5	2.3										
	出荷段階	2.7	1.7										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	2.7	1.7										
	販売段階	0.9	0.7										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.8	0.7										
大阪	出荷＋販売段階	0.4	0.3										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.4	0.3										
	出荷段階	0.3	0.2										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.3	0.2										
	販売段階	0.1	0.0										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.0	0.0										
兵庫	出荷＋販売段階	16.5	12.8										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	16.2	12.6										
	出荷段階	14.1	11.0										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	14.1	11.0										
	販売段階	2.4	1.9										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	2.1	1.6										
奈良	出荷＋販売段階	2.4	1.7										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	2.3	1.5										
	出荷段階	1.5	0.9										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	1.4	0.9										
	販売段階	1.0	0.7										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.8	0.6										

（和歌山から山口）

（単位：千玄米トン）

		元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷＋販売段階	0.5	0.3										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.4	0.3										
	出荷段階												
	元年産米												
	1年古米（30年産）												
	販売段階	0.5	0.3										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	0.4	0.3										
鳥取	出荷＋販売段階	8.3	5.7										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	8.1	5.6										
	出荷段階	5.9	3.8										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	5.9	3.8										
	販売段階	2.3	1.8										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	2.2	1.8										
島根	出荷＋販売段階	8.9	6.7										
	元年産米		0.3										
	1年古米（30年産）	8.8	6.2										
	出荷段階	6.8	4.7										
	元年産米		0.3										
	1年古米（30年産）	6.8	4.5										
	販売段階	2.1	1.9										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	1.9	1.7										
岡山	出荷＋販売段階	19.6	14.0										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	19.3	13.8										
	出荷段階	15.2	10.4										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	15.2	10.4										
	販売段階	4.4	3.6										
	元年産米												
	1年古米（30年産）	4.1	3.4										
広島	出荷＋販売段階	11.4	8.2										
	元年産米		0.2										
	1年古米（30年産）	11.1	7.7										
	出荷段階	8.2	5.6										
	元年産米		0.1										
	1年古米（30年産）	8.2	5.5										
	販売段階	3.2	2.6										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	2.9	2.3										
山口	出荷＋販売段階	13.1	10.2										
	元年産米		0.4										
	1年古米（30年産）	12.9	9.7										
	出荷段階	11.5	9.0										
	元年産米		0.4										
	1年古米（30年産）	11.5	8.6										
	販売段階	1.6	1.3										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	1.4	1.2										

（徳島から佐賀）

（単位：千玄米トン）

		元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷＋販売段階	2.5	7.2										
	元年産米		5.3										
	1年古米（30年産）	2.4	1.8										
	出荷段階	1.0	5.0										
	元年産米		4.3										
	1年古米（30年産）	1.0	0.7										
	販売段階	1.6	2.2										
	元年産米		1.0										
	1年古米（30年産）	1.5	1.1										
香川	出荷＋販売段階	7.5	6.1										
	元年産米		0.4										
	1年古米（30年産）	7.4	5.7										
	出荷段階	6.5	5.2										
	元年産米		0.3										
	1年古米（30年産）	6.5	4.9										
	販売段階	1.0	0.9										
	元年産米		0.1										
	1年古米（30年産）	0.9	0.8										
愛媛	出荷＋販売段階	3.1	3.6										
	元年産米		1.6										
	1年古米（30年産）	2.9	1.9										
	出荷段階	2.6	3.2										
	元年産米		1.5										
	1年古米（30年産）	2.4	1.5										
	販売段階	0.5	0.4										
	元年産米		0.1										
	1年古米（30年産）	0.5	0.3										
高知	出荷＋販売段階	2.2	9.6										
	元年産米	0.2	7.9										
	1年古米（30年産）	1.7	1.3										
	出荷段階	0.4	4.7										
	元年産米	0.1	4.5										
	1年古米（30年産）	0.3	0.2										
	販売段階	1.8	4.9										
	元年産米	0.1	3.5										
	1年古米（30年産）	1.4	1.1										
福岡	出荷＋販売段階	18.9	13.5										
	元年産米		0.5										
	1年古米（30年産）	18.5	12.8										
	出荷段階	14.9	9.5										
	元年産米		0.2										
	1年古米（30年産）	14.9	9.2										
	販売段階	3.9	4.0										
	元年産米		0.2										
	1年古米（30年産）	3.6	3.6										
佐賀	出荷＋販売段階	12.2	9.8										
	元年産米		0.9										
	1年古米（30年産）	12.1	8.8										
	出荷段階	10.8	8.6										
	元年産米		0.8										
	1年古米（30年産）	10.8	7.8										
	販売段階	1.4	1.2										
	元年産米		0.1										
	1年古米（30年産）	1.3	1.0										

（長崎から沖縄）

（単位：千玄米トン）

		元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷＋販売段階	3.3	2.6										
	元年産米		0.4										
	1年古米（30年産）	3.2	2.2										
	出荷段階	3.0	2.4										
	元年産米		0.4										
	1年古米（30年産）	3.0	2.0										
	販売段階	0.3	0.3										
	元年産米		0.0										
	1年古米（30年産）	0.2	0.2										
熊本	出荷＋販売段階	21.5	18.1										
	元年産米		2.4										
	1年古米（30年産）	20.9	15.3										
	出荷段階	15.0	12.1										
	元年産米		1.5										
	1年古米（30年産）	15.0	10.6										
	販売段階	6.5	6.0										
	元年産米		0.9										
	1年古米（30年産）	5.9	4.7										
大分	出荷＋販売段階	7.2	5.9										
	元年産米		0.4										
	1年古米（30年産）	7.0	5.4										
	出荷段階	5.0	4.0										
	元年産米		0.2										
	1年古米（30年産）	5.0	3.8										
	販売段階	2.1	1.9										
	元年産米		0.1										
	1年古米（30年産）	2.0	1.7										
宮崎	出荷＋販売段階	6.0	7.4										
	元年産米	3.5	5.6										
	1年古米（30年産）	2.4	1.8										
	出荷段階	3.9	4.2										
	元年産米	2.2	3.0										
	1年古米（30年産）	1.6	1.2										
	販売段階	2.1	3.2										
	元年産米	1.3	2.6										
	1年古米（30年産）	0.8	0.6										
鹿児島	出荷＋販売段階	7.9	10.2										
	元年産米	0.7	4.0										
	1年古米（30年産）	6.6	5.7										
	出荷段階	5.7	5.9										
	元年産米	0.1	1.1										
	1年古米（30年産）	5.0	4.4										
	販売段階	2.2	4.3										
	元年産米	0.6	3.0										
	1年古米（30年産）	1.6	1.3										
沖縄	出荷＋販売段階	0.6	0.5										
	元年産米	0.6	0.5										
	1年古米（30年産）	0.0	0.0										
	出荷段階	0.3	0.3										
	元年産米	0.2	0.3										
	1年古米（30年産）	0.0	0.0										
	販売段階	0.3	0.3										
	元年産米	0.3	0.3										
	1年古米（30年産）												